

熊本西原語辞典

第2版

私たちの原点、西原語再発見の心の旅

- ・初版：編集事業取組開始に臨んで
- ・第2版において
- ・西原語辞典
- ・備考：特徴や語源（分析編）

2003年11月初版

2025年3月第2版（第1刷）

編集：関東にしはら会

協力：西原村役場有志

（第2版 編集者 高本孝頼）

初版：熊本西原語編第事業の取り組み開始に臨んで

< 関東にしはら会 矢野会長ご挨拶 >

- 私たちの原点、西原語再発見の心の旅

2003年11月

このたび、「関東にしはら会」の運営幹事会の提案により、「熊本西原語辞典」の編集事業に取り組むこととなりました。

熊本弁とか西原弁などの表現を使用せず「西原語」という表現を使用する理由は、標準語とか共通語が主役で地域語が節制的な存在ではなく、それぞれが立派な主役としての大切なことだと思うからです。

西原語は、私たちが山西村または河原村あるいは西原村に生まれ育ち、村を離れるまでは、当たり前のこととして使用してきた大切な言語です。幾多の風景、親や兄弟、親戚、恩師、友人などと共に、それらと一体で脳に焼き付いている大切な財産です。私たち一人一人の心と身体の一部になっていると言っても言い過ぎではないと思っております。

そのような西原語も、テレビをはじめとしたマスメディアの普及や交通機関の発達により、特にテレビやインターネットの影響により、国境同様、県境、市町村境も、経済や文化面では急速にボーダーレス化してきており、古き良き表現も失われてきております。若い世代に徐々に忘れ去られている貴重な西原原語もたくさんあるのではないのでしょうか。

しかし、現在郷土に住み、営々と生活を営んでこられた年配の方々と同様、昨今の急激な変化の前に西原村を離れたわれわれ「関東にしはら会」の会員は当時の西原語（原語）を、脳の一部に冷凍保存しており、意識・無意識のうちに知っていると思えます。

また、現在西原村に居住し、西原語の真只中で生活し、あたかも空気や水のように、当たり前のものとして使用している方々には、西原語の重要性や西原原語を体系的に記録し後世に伝えることの意義に対する認識と必要性は少ない方が多いのではと思われまます。

時期や期間の違いはあるものの、西原村を離れている私たちが、その重要性や意義はもとより、西原語を客観的に考えることができる絶好の立場にあるのではないのでしょうか。

さらに、私たちにとっては、この事業に取り組む過程で、昔日の西原村での生活（親や恩師から受けた説教、兄弟げんか、友人たちとの会話など）をそれぞれの心のスクリーンで見ることができるなつかしい機会だと思われまます。

そこで、このたび、関東にしはら会として「熊本西原語辞典の編纂事業」に取り組むことを決定いたしました次第です。編集方法の要点は次のとおりです。

- 各役員皆多な日常生活のなかでも、思い出した「西原語」を手帳などにメモし、役員会、運営幹事会、事務局会議等の会議の場に持ち寄り、各会議の時間の一部を西原語の解凍・抽出の時間に充て、楽しみながら検討する。
- 必要があれば、「西原語辞典委員会」を組成し、一般会員にも参加していただく。
- 随時、西原村役場を通して監修をお願いする。
- 「熊本西原語辞典」の作成を開始し、更新しながら、隔年開催予定の総会を目標に「熊本西原語辞典」を発行し、会員に配布する。
- 版を重ねるごとに内容が充実すれば、貴重な財産になると思われまます。

以 上

第 2 版において

2025 年 3 月

この度、第 2 版の作成においては、編集者におけるいくつかのきっかけと、初版の改訂版の必要性を考えたことから、ここに集中してまとめることとした。初版は、2003 年において、関東にしはら会という東京在住の方々と、西原村役場の方達の有志でまとめられ、800 語弱ほどの西原語の辞書が出来上がっていた。しかし長い間、日の目を見ることなく、関東の有志の人たちで大事に保管されてきた。時間を経て、2025 年春、ハワイに住む編集者のいとこが 64 年ぶりに、日本観光で帰国することになり、その歓迎会として準備をしていたら、いとこが西原弁（正確には山西弁）なら少しは分かるということで、初版を探し見つけ、それを提供したいと思った次第である。（そのついでで、この初版を西原村役場の吉井誠村長に依頼して、村役場の Web サイトにリンクして掲載してもらうこととした）

その後、ハワイにいる叔母（この年 94 歳）にもビデオ電話で連絡していると、当然西原弁で会話することとなり、かなり懐かしいことば（語彙）が会話に出てくることに、改めて西原弁の語彙の多さに驚き、初版の見直し・追加修正をしたいと考えた次第である。まさにガラパゴスの世界がそこにあった。考えてみれば、著者は生まれてから高校を卒業するまで、祖母（明治 43 年生まれ）のもとで育ったこともあり、祖母の西原弁で育った環境があった。その後 25 歳まで熊本を離れることはなかった。現在、田舎には 90 歳を超える母親が健在で、弟と妹もいて、西原弁での会話は当たり前で、最近年 3 回ほど帰省しては、親戚めぐりを通して、やはり西原弁を使い、会話を楽しんでいる。

40 数年前、東京に出てすぐにヒットになった、海援隊・武田鉄矢の「母に捧げるバラード」は、まさに田舎のことばであり、懐かしさがあった。そこに出てくる母親は、熊本の出身と聞いて、自然と耳に入り込んできた。世の中もだんだんと変わって行って、方言も見直され、大事にされるようになってきている。著者も最近、年 3 回ほどは西原村に帰る機会があり、その都度墓参りや親戚巡りをしている、中学や高校の同級生などの知人に会えば、西原弁はその都度よみがえって会話をしている。

今回の第 2 版においては、ハワイの叔母やいとこたちにも分かってもらえるように、多くの語彙を追加したいと思って編集開始した次第である。それに、より多くの西原で話されている熊本弁（肥後弁）なども追加すべきと考えて、インターネット上での「熊本弁（肥後弁）」を調べ、既存出版の調査なども行った。その結果、すでに 2005 年に出版されていた「こらおもしろか肥後弁辞典」（編著：中川義一）が見つかり、そのうち子供の頃から聞いて覚えている西原語を選択しこの第 2 版に追加していった次第である。この編集においては、この本の中で、ほとんど分からない語彙は外し、意味合いが違うのは改めて意味付けし、事例なども追記していった。さらに田舎の弟・妹および知人らを通じて、抜けている語彙は追加していった経緯がある。

著者は、工学者であり論文や著書本も少なからず執筆してきた経験があるが、国文学や古文などの知識は持ち合わせていない。できれば、将来において、西原弁がわかる人たちの参加や、専門知識のある方々によって、より精度の高い辞書に作り上げてもらえればと願っているところでもある。

最後に余談だが、私が若い頃に、熊本県人だと覚えやすい円周率の語呂合わせで、3.1415926535 を「見いよ、肥後国、むごうみごつ（見てください、肥後の国は、とても立派ですよ）」としてネット上で発表したことがある。こんな言葉遊びで、何らか昔の言葉が少しでも受け続けられてもらえればと願っている次第である。

高本孝頼（西原村大字鳥子古閑出身熊本に 25 歳まで、以降東京移住、Ph.D.）

■本辞典の初版は、関東にしはら会役員の様々な時期とそれぞれの期間の西原村での棲息体験の中で苦積され、脳の一部に冷凍保存されていたものを、本目的のため一部解凍し764語を抽出し編集、西原村役場職員有志による修（訂正と補充）の手続きを経たものです。

第2版では、さらに肥後弁・熊本弁と呼ばれる広い地域で使われている言葉を、2005年に出版された「こらおもしろか肥後弁辞典」（編著：中川義一）の中の約7000語から、今でも理解できるであろう約1300語の語彙を抽出し、さらに西原村独自に使われているであろう100語ほどを追加編集しています。先の1300語においては、そのままの写しではなく、西原人として分かる意味にしたり、事例などを追加したりしています。なお第2版では、単語の後ろに「*」を表記しました。

【あ】

- ▶ああた：貴方（あなた）、「ああたもああた」あなたもあなた*
- ▶あいそん（も）こそん（も）にやあ・～なか：そっけない・愛想も媚想もない
- ▶あいたー：ああ・あれー、「あいたーこらしもた」あれーこれはしまった*
- ▶あいださん：会うことができない*
- ▶あーいた・あーいたか：あー痛い*
- ▶あいどし：同じ年・同年齢*
- ▶あえる・あゆる：（汚れなどが）落ちる・落とす・落ちている*
- ▶あえん：（汚れなどが）落ちない
- ▶あおか、あうええ：青色または緑色、熊本地方には青と緑を区別する表現はない、
- ▶あおもん←青物：緑色野菜
- ▶あがしこ：あれだけ・あれほど*
- ▶あかか・あつか：赤い*
- ▶あかはら：あかはらいもり*
- ▶あかる：（戸などが）開く・明るくなる*
- ▶あがる：進級する、揚げる*
- ▶あがるごたる：天気が良くなりそうだ*
- ▶あがんなっせ・～なはり：お上がりなさい・食べてください*
- ▶あき（け）ち：あけて、「まどあきち」窓を開けて*
- ▶あきにや：商売*
- ▶あぎやしこ・あしこ：あれだけ
- ▶あぎゃん・あがん←あの如く：あの様に、「あぎゃんさすけん」あんなにされるから*
- ▶あきるる：呆れはた
- ▶あくしやうつ：あつけにとられる、あいた口がふさがらない 推定関係語：あくのや
- ▶あくたう←悪態をつく：悪口を言う、罵る、批判をする
- ▶あぐる：あげる：もどす・嘔吐*
- ▶あけ（き）ち：開けて*
- ▶あげどふ：揚げ豆腐、類語：ひやどふ、やきどふ
- ▶あげな：あんな、「あげなこっばしよって」あんな事して*
- ▶あげん：（強めの）あんな、「あげんせんちゃよかろうに」あんなにしなくてもいいのに*
- ▶あこう：明るく・赤く*
- ▶あこうなつた：明るくなった・赤くなった*
- ▶あごたたく：余計なことを言う
- ▶あごたん：あご

- ▶あごばかり：口先だけ*
- ▶あごんおおか：口数が多い*
- ▶あさしごつ←朝仕事：朝食前の農作業、朝飯前（に片付けられること、または能力）
- ▶あしたんこつ：明日のこと*
- ▶あしちや←あしたへ←あしたに：明日に
- ▶あしつぎ：ふみ台*
- ▶あしや：浅い・足は*
- ▶あすうどる：遊んでいる・失業している・使っていない*
- ▶あすけ←あそこへ：あそこへ、リエゾン：こへ→け、変化：こけ・そけ・あすけ・どけ
- ▶あすこ・あすけ：あそこ・あそこに*
- ▶あすなさ：明日の朝*
- ▶あすび・あすぶ：遊び・遊ぶ*
- ▶あせがる：急ぐ、あわてる
- ▶あせぐる：かきまぜる
- ▶あぜぐろ、あぜくろ：田畑のどて
- ▶あせぼ：あせも
- ▶あせる：あさる・探し出す・いそぐ、「あせらん」早くしなさい*
- ▶あた・あーた・ああた・あんた：貴方 例：あたはなんしょつとな：あなたは何していますか
- ▶あたがつ：あなたのもの：2人称所有代名詞
- ▶あたげ、あんたげ：貴方の家
- ▶あたじゃ：急に、急いで、慌てて、取り急ぎ、突然、準備不十分な状態で、取るものもとりあえず、推定由来：あつという狭に
- ▶あたどま・あたどみや・ああたどん・ああたどま・あたどん←あなたどもは：あなた方は
- ▶あたばい：あなたですよ*
- ▶あたまんくう：頭にくる・腹が立つ*
- ▶あたまばつかわんか：よく考えろ*
- ▶あたまや：あなたは、「あたどみや」あなたたちは*
- ▶あたんゆうごつ：あなたの言う通りです、参考：やや自嘲的なニュアンスもある
- ▶あっだけ：あるだけ*
- ▶あつたと：有ったの・有ったよ*
- ▶あつちゃん・あつちさん：あちらの方向に*
- ▶あつと：あるの・あるよ*
- ▶あつど：あるだろう・あるだろうか*
- ▶あつどん：あいつら*
- ▶あつる：当てる*
- ▶あちい、あつか：熱い、暑い、「あつかな」暑いな、「あちいど」暑いかな*
- ▶あてこする：皮肉を言う、あてつけをいう、名詞：あてこすり、対応漢字：当て擦り
確認由来：あてこと「当て言」、古典例：歌舞伎・毛抜、浄瑠璃・寿の門松
- ▶あてならん：信用ならない*
- ▶あど：足のかかと、「あどぼうず」かかと*
- ▶あとえ←あとおい：後追い、幼児が母親の後を追ったりすること
- ▶あとさき←後先：前後、逆順番、参考：日本語のあとさきとややニュアンスを異にする
- ▶あとざらい：復習*
- ▶あとすざり：＝あとずさり、漢字：後退り、大辞林：いずれの用法もある
- ▶あとぜき：部屋を出るとき扉を閉める
- ▶あとびき：①水や油などの液体が滴り落ち続ける、②食べ物の美味しい味が残ること

- ▶あのし、あんし=あの人たち、推定由来：あの師？：敬語か？、中国：先生
- ▶あばかん、あばかにゃ←あばかに：うんざりするほどたくさん
- ▶あばるる：あばれる*
- ▶あぶなか・あぶにゃ：危ない*
- ▶あぶらむし：ごきぶり
- ▶あぶらめ：川魚の一種
- ▶あほたれ：ばか者*
- ▶あほんごたる：ばかみたい*
- ▶あまかー・あまー・あみや：甘い・やさしすぎる*
- ▶あまっとる：余っている*
- ▶あまゆんな：甘えるな*
- ▶あまりもん：あまり物*
- ▶あまる：犬猫などがざれる様*
- ▶あもなる：甘くなる*
- ▶あめがた：飴
- ▶あやつ：あいつ、「あやつどん」あいつら*
- ▶あゆる、あえる：①汚れが落ちる、②野菜や魚介類を味噌などの調味料をまぜる
- ▶あゆんで、あゆじ：歩いて
- ▶あらくたましい、～しか=荒っぽい、やり方が荒い
- ▶あられむ（ん）にゃあ：とんでもない*
- ▶あられんこつ←あってはならないこと：とんでもないこと
- ▶ありがちゃ：ありがたい*
- ▶ありばしするごつ：ありもしないのに*
- ▶ありもせんこつ：ありえないこと*
- ▶ありやせんか：ありはしないか*
- ▶ありやす：荒らす*
- ▶ありむし：蟻
- ▶ある：あれ*
- ▶あるがつ：あの人のもので：3人称所有代名詞
- ▶あるこつなやーこつ：有ること無いこと*
- ▶あるしこ：あるだけ*
- ▶あるってたい：あると言われた*
- ▶あるば：あれを、「あるばはいよ」あれをください*
- ▶あるばすごって・あるばしのごつ：ありもしないのに*
- ▶あるばってん：あるけれど*
- ▶あるな：ありますか・あります*
- ▶あるみや：ないだろう*
- ▶あれしこ：あれだけ*
- ▶あんじゃ、あんじゃもん←あにじゃ、確定由来：古語：兄者人：浄瑠璃・天の網島
- ▶あれたい：あれです*
- ▶あれんこれん：あれもこれも*
- ▶あわつる：あわてる、「そぎゃんあわつんな」そんなに急ぐな*
- ▶あわん：似合わない・計算があわない*
- ▶あんとき：あのとき*
- ▶あんしと・あんした：あのひと*
- ▶あんじゃ：あに*

- ▶あなた：あなた*
- ▶あんにや、あんにやあ：案内、類語：道あんにやあ
- ▶あんびやあ：あんばい・具合・程度*
- ▶あんびやんえ～：投配がよい、具合がよい、類語：ええあんびや、よかあんびや
- ▶あんぼんたん：おばかさん
- ▶あんまり：あまり、「あんまりばい」ひどいよ*
- ▶あんよ：歩く*

[い]

- ▶～い：～しましょうよ：勧誘語尾、例：行こい。遊ばい、勉強しよい、帰ろい、いのい
- ▶いい：言う、「いいなはんな・いいなすな」言わないで、「いいちいかせる」言い聞かせる、「いいもしきらん」言うに言えない、「～いいよった」～言っていた、「～いいよると」～言っていたの・～言っていた*
- ▶いいつくる：言いつける・告げ口する*
- ▶いうおじ：地名：医王寺
- ▶いうごつする：いいなりになる、用例：いうごつしょうたい
- ▶いうちきかせる：言い聞かせる*
- ▶いうちみー：言ってみろ*
- ▶いうちやすまんが：言ったら悪いが*
- ▶いうとこか：言っておこうか*
- ▶いうみや：言わない*
- ▶いえん：言えない、「いえんごたる」言えないようだ*
- ▶いお・うお：魚、「いおとり・うおとり」さかなとり*
- ▶いおうごたる：言いたい*
- ▶いがいが：栗のとげ*
- ▶いかす：行かれる、「いかしたごたる」行かれたようだ、「いかしたばいた」行かれました、「いかっさん」行かれない、「いかにゃん」行かなければ、「いかにゃなるみや」行かないといけないかも、「いかにゃんけん」行く必要があるから、「いかにゃんたい」行きなさい・行く必要があるよ、「いかれん」行けない、「いかん」行かない、「いかんかい」行きませんか、「いかんばい」行かないよ*
- ▶いがわさん：井戸
- ▶いかんごたる：行かないようだ・ダメなようだ*
- ▶いかんばい：行かないよ・うまくいかない*
- ▶いかんばな：行かないよ*
- ▶いきあい：行き合う・離合*
- ▶いきがけ・いっがけ：往路・行く途中、「かえっがけ」復路・帰る途中*
- ▶いきださん：行く時間がない*
- ▶いきつかん：行き着かない・到着しない・間に合わない*
- ▶いきつく：ひと段落*
- ▶いきとる：生きている、「いきとんなはる」生きておられる*
- ▶いきなっせ：行きなさい、「いきなはり」行きなさい*
- ▶いくと：行くの・行きますよ、「いくど」行くだらう、「いくもんか」行くものか、「いくや」行きますか*
- ▶いくばい：行きますよ*
- ▶いくる←いける：埋める
- ▶いげ：とげ

- ▶いけた：行くことができた・埋めた、「いける」埋める、「いけなはり」埋めなさい
- ▶いけない：埋めない・飲めない・行くことができない*
- ▶いける：埋める・飲める・行くことができる*
- ▶いけ(ぬ)ん：埋めない・飲めない・行くことができない*
- ▶いこい：行こう*
- ▶いこか：行こうか*
- ▶いっきらん：行くことができない*
- ▶いっきる：行ける・行くことができる*
- ▶いごきのとれん：動きが取れない*
- ▶いごきよる：動いている*
- ▶いごく：動く*
- ▶いさぎい、いさぎにや：副詞：大いに、たいへん
- ▶いしかため：かぶと虫、由来：石担ぎ、石を担ぐ虫、参考：幼虫は馬ん虫
- ▶いじむる：いじめる*
- ▶いしゃどん←医者殿：お医者さん：医師
- ▶いしわくど、うしわくど：がまがえる
- ▶いじんどん←異人殿：外国人
- ▶いそがしかとに：忙しいのに*
- ▶いそぎよらす：急いでおられる*
- ▶いたか・いちゃ：痛い*
- ▶いたらんこつ：至らないこと・余計なこと・ばかなこと*
- ▶いたりきたり：行ったり来たり
- ▶いち～・うち～：(強意)、いちくう：食べる、いちはよう：いち早く*
- ▶いっ～・うっ～：(強意)、いっちよく・うっちよく：置き去りにする*
- ▶いつかしじゅう：いつも、年がら年中、推定由来：何時か始終
- ▶いっしょくたん：なにもかも一緒に*
- ▶いっそんこつ：ひと想いに*
- ▶いっだん：一段と、「いっだんつよになった」一段と強くなった*
- ▶いっちゃん：一番*
- ▶いっちょ：ひとつ・一個
- ▶い(う)っちよく：放置する、「い(う)っちよこい」放っておこう*
- ▶いっちょも：全く*
- ▶いっちょん：ひとつも、全然～でない
- ▶いっでん←何時でん：いつでも、いつも、「いっでんよか」いつでも良い*
- ▶いっとき：ちよつとの間、「いっときどま」少しの間は*
- ▶いっどき←一時：同時に、一緒に
- ▶いっば：(親族の)一派*
- ▶いっぴや：いっばい*
- ▶いっぴやこっぴや←いっばいこっばい：たくさん、大量に、類例：あっちゃこっちゃ
- ▶いっぺんに←一遍に：一緒に
- ▶いつまっでん：いつまでも*
- ▶いつもかつも：いつもいつも*
- ▶いつんはじゃ：いつのまに、推定由来：何時の狭間に→いつのはざまに→いつんはじゃ
類語：まっとするはじゃ：待っている間に(～できるではないか)
- ▶いでんくち：地名：出の口
- ▶いととり：女兒の遊戯：あやとり、参考：モンゴロイド(イヌイット南米等)に広く伝承

- ▶いとどる：傷んでいる*
- ▶いどのす：卑属語：お尻の穴
す：穴、類語：はなのす、みみのす
- ▶いぬ、いぬる←往ぬる：帰る（古典：ナ行変格活用の「往ぬ」、「死ぬ」）
- ▶いねこぎ：脱穀*
- ▶いのい、いのか←往ぬ：帰ろう、「みなやんでいのい」：みんなで帰ろう。
- ▶いのす：ゆず：いのす→いず→ゆず、推定：「いのす」が原語だと思われる、の：助詞
- ▶いひひょうもん、いひようもん：変わり者、推定由来：意表をつく者
- ▶いまんところ：今のところ*
- ▶いみる：増加する、増える
- ▶いも：さといも
- ▶いもがらぼくと：カラ元気者
- ▶いやしい、いやしか=食い意地が張っている
- ▶いやらしか・やーらしか：やらしい*
- ▶いらんこついらぬこと：よけいなこと、ほっといてくれ、例：いらんこつたい
- ▶いるかい：要りますか*
- ▶いるしこ：必要なだけ*
- ▶いるな・必要ですか*
- ▶いわいごつ：祝い事*
- ▶いわし：言いなさい*
- ▶いわせん：言わせない*
- ▶いわにゃん：言わないと*
- ▶いわちしゃ←岩チシャ：滝の岩に自生する天然のチシャで薬草として食する習慣がある。
- ▶いわっさん←おっしゃらない：言われない
- ▶いわるる：言える*
- ▶いわれんこつじゃなかー：言われたことではない*
- ▶～いわん：～以上、「そっचा（た）いわん」いれ以上*
- ▶いわんば：言わないと・言わないの*
- ▶いん：犬、ぬ→ん
- ▶いん〇〇〇：物の〇〇〇、もどき、例：いんざんしょ：大山椒：偽山椒：山椒もどき

[う]

- ▶うらばんぎゃあ=いい加減な、大雑把な、超推定：大晩景：深い夕暮時の不明瞭な景色
- ▶うお：魚*
- ▶うかつとる：浮いている・合格している*
- ▶うくる：受ける・受験する・請け負う*
- ▶うけこなさん：処理しきれない*
- ▶うしたりよるたい：垂れ落ちていますよ。
- ▶うしたる：垂れ落ちる、推定由来：うちしたたる、うち→う：接頭語
- ▶うしてちけ：捨ててこい*
- ▶うしつ（て）る：捨てる、う：接頭語、「うしちゅうごたる」捨てたい*
- ▶うーすか：薄い*
- ▶うすぐりゃ：薄暗い*
- ▶うすとろか：気恥ずかしい

- ▶うすぬっか：気恥ずかしい、照れくさい、同義語：うすところか
- ▶うずぶるゆる＝寒さや怖さなどで) 震える、うず：強意接頭語、関連古代語：うちぼう
- ▶うそんごたる：うそのようだ＊
- ▶うだく：(あかちゃんを抱く)
- ▶うたす：(相手を) うたれる＊
- ▶うたるる：(相手から) うたれる＊
- ▶うたれがたしきやにや：打たれて当たり前＊
- ▶うち：私の家・家・私＊
- ▶うち～・うっ～：全く・すっかり・ひどく・非常に、「うったまがる」とってもびっくりする＊
- ▶うちあわん：相手にしない＊
- ▶うっぼがす＝突き抜く、穴を空けてしまう、うっ：強意接頭語、ほがす：穴を空ける
- ▶うっぼがし＝開けっぱなしの(部屋などの空間)、うっ：強接頭語、ほがす：穴を空けるこうった
- つ：出発する、仕事にとりかかる、課題解決に着手する
- ▶うったわす：病気に寝こむ、例：あんひとはとうとううったわしたてったい：あの人はとうとう病気で寝込んでしまわれたときいた＊・
- ▶うっちゃる←うちやる：放っておく
- ▶うっちゃぐ：押しつぶす＊
- ▶うच्चよく←うち置く：置き去りにする、保留にする、ペンディングにする。
- ▶うっつあする、うちわすれる←うち忘れる：忘れてしまう、「うち」は接頭語
- ▶うっつけじゃあく←打ちつけ大工：免許を持たず設計図なしの地域の建築業者
- ▶うっぞ：打つぞ＊
- ▶うとまるる：嫌われる＊
- ▶うづる←うでる：茹でる、※共通語：「うだるような暑さ」から原語が生存か？
- ▶うでたまご：茹でたまご
- ▶うばぎゃあ、うんばぎゃあ←うば貝：食用の一種、有明海沿岸、アオヤギ、バカ貝？
- ▶うべあわせ：埋め合わせ＊
- ▶うまか：美味しい＊
- ▶うまんくそむし：馬の装虫：かぶと虫の幼虫、かぶとむしは「いしかため」
- ▶うみやあ：美味しい＊
- ▶うむす：(理法) 蒸す、うむしだご＝蒸しだご、う：接頭語
- ▶うもー：上手く、「むもーなる」上手になる＊
- ▶うもにや・うもなか：美味しくない・うまくない＊
- ▶うゆる：植える＊
- ▶うるる：熟れる＊
- ▶うわん・うえん：上の、「うえんだん」上の棚＊
- ▶うわんそら：うわの空＊
- ▶うんにや：いいや＊
- ▶うんべた：海辺(うみべ)＊

[え]

- ▶え：家、おるがえ→おるげ：←俺ヶ家：私の家
- ▶ええ：良い、「ええあんびゃ」いい具合、「ええかいた」いいですか＊
- ▶ええくらう←家を食らう：酔っ払う
- ▶ええくりゃあ←家食らい：酔っ払い
- ▶ええくろとらす←家食るとらす：酔っ払っていらっしゃる

- ▶ええころかげん：中途半端*
- ▶ええしこ：好きなだけ*
- ▶ええばい：いいですよ*
- ▶えぐい：味覚的な表現の一種
- ▶えじー（い）、えずい：怖い、恐ろしい、確定由来：古語：おぞし：中世・近世語：史記抄
- ▶えばる：いばる*
- ▶えべっさん：恵比寿様
- ▶えもんかけ：着物掛け
- ▶えらいこつ・えりゃーこつ：大変なこと*
- ▶えらかばいた：偉いですよ*
- ▶えらしこ・えらいしこ：たくさん、えらい：おおいに、たくさんの、しこ：量、程度
- ▶えりゃー（あ）：えらい*
- ▶えんかうち、えんか←縁家：親戚

【お】

- ▶おいぎり：おやつ、間食
- ▶おいけさん：お池さん（桑鶴にあった池：2016年の熊本地震で消滅）
- ▶おいせん：追い銭、余計な追加負担金、二次災害的負担金
- ▶おいでなはる：おいでになる*
- ▶おえん←おえない：手に負えない、責任持てない、例：おえんにゃあ
- ▶おえん：縁側*
- ▶おお（う）か、おうええ＝多い、反対語：すくなか、すくにゃあ
- ▶おおぎりはちや：大切畑（地名）へ、「おおぎりはちやいくばい」大切畑にいこう*
- ▶おおごつ：大変なこと*
- ▶おかがみさん：鏡餅、正月のお供え餅
- ▶おかしか：おかしい*
- ▶おかれんこん←陸レンコン：野菜：おくら、由来：畑のレンコン、類似形から
- ▶おき：火種、おき火、消し炭
- ▶おぐつちやくる＝大口を開ける、分析：単なる音の転訛で必ずしも地域語ではない
- ▶おくるる：遅れる*
- ▶おごさん：仏壇に供える米粉のだんご、推定由来：拝む→おがむ→おごう
- ▶おこなえん＝しょうがない、やっておれない、推定由来：行っておれない
- ▶おごる：怒る、怒鳴る
- ▶おさい←お菜：おかず、推定由来：主食に対する副（そえ）食、添（そ）えもの
- ▶おしご（こ）み：押し入れ、推定由来：押し込み
- ▶おしごろ・おし：口が聞けないひと*
- ▶おじゃめ：女兒の遊具：お手玉？
- ▶おすむ・おずむ：目を覚ます、例：赤子のおずむけん、おとなしゅうしとかんか
- ▶おそゆる：教える
- ▶おだえっさん：お大師様：弘法大師様
- ▶おたぎや：いたがい*
- ▶おちよくる：ばかにする*
- ▶おっぐすり←おきぐすり：（富山の）置き葉
- ▶おつけ、みそおつけ、みそつけ←おみおつけ：味噌汁、確定由来：中世女性語
- ▶おったか：居たか*

- ▶おっとる：盗む・奪う*
- ▶おっどん：俺たち*
- ▶おとったつ：取り上げたもの、奪い取ったものおっとる：取り上げる、奪う
- ▶おっぺしゃん：醜女、無理な推定由来：ドイツ語、オツペ：反対、シャン：美しい
- ▶おてしお：小皿*
- ▶おてつかん：落ち着かない*
- ▶おてつく：落ち着く*
- ▶おとこし：男衆*
- ▶おとし：ポケット*
- ▶おとつ←おとうと：弟、確認由来：男女にかかわらず年下のきょうだい：雑上
- ▶おとつい：おととい*
- ▶おどま、おっどま：俺共は：私たちは
- ▶おどれ・おどりゃー・わりゃ：おのれ*
- ▶おなきなる←あおなきになる：仰向け（あおむけ）になる
- ▶おなごし：女衆*
- ▶おなしこつ：同じとこ*
- ▶おなめ、おなめうし=雌牛、メスの牛、反対語：こつて、こつてうし、推定：女雌牛
- ▶おひめさん：目が炎症をおこす病気、関西語：めばちこ
- ▶おほしさん：御輿様：神輿様：御法師様という説もある
- ▶おぼゆる：勉強ができる、断定由来：古代語、例：宇治拾遺集
- ▶おみい・おむか・おむたか・おもか：重い*
- ▶おめく：叫ぶ、大声で呼ぶ、断定由来：喚く、例：枕草子、「おめきよる」叫んでいる*
- ▶おもさん←思うだけ：必要なだけたくさん
- ▶おもしれえ：面白い
- ▶おもやい、おもやあ：共有物、漢字：お最合い、お催合い、推定由来：古代後名残り
- ▶おもり：子守り*
- ▶おやつしよ：あぶらぜみ、しよ：セミ
- ▶おらす：おられる、「おらすたい」おいでになるよ*
- ▶おらっさん：居ない*
- ▶おられん・おれん：いることができない*
- ▶おらんだ：マッチ
- ▶おらん：いない*
- ▶おる・おりゃ：俺、「おっだろ」俺だろう、「おるがこつ」俺のこと、「おるがごつ」俺のように、「おるがつ・おれんと」俺のもの*
- ▶おる：居る、「おらす」居られる、「おらした」居られた、「おらすな」居られるか、「おらっさん」居ない、「おらっそ」居るだろう、「おるかいた」居ますか*
- ▶おるがえ：俺の家、「おるがえけ」俺の家に来い
- *
 - ▶おるがつ：おれものも：1人称所有代名詞
 - ▶おれんと：おれものも：1人称所有代名詞
 - ▶おろか・おろえー：良くない*
 - ▶おろえ～、おろよか：軟弱な、安物の、低級の、壊れやすい、参考：人、物
 - ▶おんじゃく：温石・地面や石などの上に描く時の石のチョーク
 - ▶おんなはる：居られる*
 - ▶おんなつな、おんなるな：いらっしゃいますか、訪問の挨拶：ごめんください

【か】

- ▶～か：～い、「あたらしか」新しい、「あつか」あつい、「いそがしか」忙しい*
- ▶～かい：～ですか・～なさい、「いかんかい」行きませんか、「こんかい」来ませんか*
- ▶～かいた：～しましたか、「どけいったかいた」どこに行きましたか、「なんばしよったかいた」何をしていましたか*
- ▶かいじゃくし←貝子：お玉子、汁物をすくう子
- ▶かいもん：買い物*
- ▶かえ：帰る、「かえんなはる」帰られる、「かえらした」帰られた、「かえらっさん」帰られない、「かえんなはらん」変えられません*
- ▶かえっがけ：復路・帰る途中*
- ▶かがし：かかし、濁音になることが特徴
- ▶かかじる：ひっかく、かきむしる
- ▶かかゆる：かかえる・持ち上げる*
- ▶かかわんな：関わるな*
- ▶かきもち：おかき、推定参考：共通語の「おかき」が省略語、おかきもち→かきもち
- ▶かくさん：お母さん
- ▶かぐ：欠ける・不足する・芽を折る*
- ▶～がけ：～しながら、～していると：行きがけ、帰りがけ、推定由来：かけて＝兼ねて
- ▶かご：むかご：山芋の実、砂糖と醤油で甘辛く煮て食する
- ▶かごむ：かがむ、推定：古代表現の名残りか、かごむ→かごめ：子供の遊戯
- ▶かざて：地名：風当、「かざあて」の「あ」が消える
- ▶～かし：（強めの終助詞）「うっちょかし」そのままにしておきなさい*
- ▶かじのき：むくげの木
- ▶かじむ：寒さで手足が冷えること*
- ▶かじむる←かじめる＝片付ける、推定由来：①古代接頭語かき+しまう、②鍵閉める
- ▶かずむ：においをかぐ*
- ▶かせ：手伝い・加勢、「かせせえー」手伝え*
- ▶～かた・～がた：～の家・～達、「あんたんかた」あなたの家、「あんたがた」あなた達*
- ▶～がた・～がつ・～がと：～ぶんだけ、「せんえんがたはいよ」千円ぶんください*
- ▶がつ・がた・がと：ほど・だけ・～のもの、「～するがつにややらん」～する奴らにはあげない*
- ▶かたか：かたい、「かちゃ」かたい、「かとーして」かたくて*
- ▶かたぐる←肩上げる：担ぎ上げる
- ▶かだごろ＝我を張る人、頑固物、意固地な人、推定由来：偏る（偏狭な）+ごろ（やつ）
- ▶かたこつ：かたこと*
- ▶かたし、かちゃし：椿、～の木：椿の木、～の花：椿の花
- ▶かたづくる：片付ける*
- ▶かたっぼ：かたほう・片方*
- ▶かたぶし＝肩、推定由来：肩節（肩の骨の節）、推定類語：こぶし
- ▶かだやる、かだゆる？＝我を張ること、推定由来：①固い、②偏る（偏狭な）
- ▶かたりがたり：変わるがわる*
- ▶かたる：参加する、例：うちんこどももかててはっよ、「かたらん」参加しない、「かたらんな」参加しないですか、「かたっとる」参加している、「かたらんか」参加しないか*
- ▶かちゃりごし：がわるがわる、交替交替で
- ▶かってふうじゃ＝好き勝手に振舞うこと、またはそのような人、推定由来：勝手風者

- ▶～がつ：～のもの：あがつ：あなたのもの：所有代名詞
- ▶かつがつ：次から次へと、確認由来：古語：併行して、対応して、源氏・若菜・下
- ▶がっしょく：悪い食い合わせのこと*
- ▶かった：借りた*
- ▶かったつ：借りたもの、買ったものは「こうたつ」
- ▶かったるう：しっかり・丈夫に、「かったるうしまとけ」しっかりしておくように*
- ▶かってしじゃあ：気の向くまま*
- ▶かっとく：借りておく、買っておくは「こうとく」
- ▶がっぱり：がっかり*
- ▶かつる：おまけをあげる、足しておく、確認由来：かてる：混ぜ合わせる、万葉集 3829
- ▶かつる：参加させる、仲間に入れる
- ▶かてて：参加させて、「かててはいよ」参加させて*
- ▶かてん：加えない、「ぬしゃかてん」おまえは加えない*
- ▶かなっしょ：ひぐらしぜみ
- ▶かなぶん：こがね虫
- ▶がね：かに
- ▶かねて：日頃*
- ▶がぼつと：ごっそり*
- ▶かばん：カバン
- ▶かぶせ(す)る：罪を負わせる・ふたをする*
- ▶～かぶる←被る：被害を被る、例：なきかぶる、しかぶる、〇りかぶる
- ▶かぶる、きゃあかぶる、ひっかぶる：責任を負わされる
- ▶かぼんす、かぼす：頭が悪いこと、または人、類語：かんぼす
- ▶かまう：面倒をみる、世話をやく、接待する、ちょっかいを出す
- ▶かます=共通語：農具：稲藁で編んだ袋、主としてコメの保管用の藁袋
- ▶かます=制裁をする、罰を与える、威嚇する
- ▶がまだす：がんばる、推定由来：「がま」を出す、「がま」は悪魔のこと、「降魔」
- ▶かまや←釜屋：調理場、台所
- ▶かみげ←髪毛：髪の毛、頭髪
- ▶がむる、がむる：他人の者を着服する。
- ▶かも(ま)わん：かまわない*
- ▶かやす：返す、帰す、参考：田返す→たがやす→耕す
- ▶かやる：ひっくり返る*
- ▶かゆる←換える：交換する
- ▶かよい：通帳、特に掛売り「つけ」を記録する通帳、支払いは盆暮である。
- ▶からいも←唐芋：さつまいも
- ▶からう←：背負う、担う：子ばからう：子供を背負う
- ▶からか・かりや：塩っぱい*
- ▶からすまがり：(こむらにぶら)がえし、脚のふくらはぎや指の筋肉がひきつる症状
- ▶からめし：おかずがなくご飯だけの食事
- ▶からんぼ←空んぼ：空っぽ
- ▶かりい・かーりい：軽い*
- ▶かる：借りる
- ▶かわいお：川魚*
- ▶がわたん：端っこ*
- ▶がわっぱ：河童

- ▶かわはる：地名：河原
- ▶かんから、くわんから：？：刺のある夏性の植物の一種
- ▶がんくび：首根っこ
- ▶かんじん、くあんじん：物乞い、托鉢僧、推定対応漢字：勧進、韓人
- ▶がんづめ←雁爪：農具
- ▶かんなし：勘が悪い
- ▶がんばんち：煙管が長いキセル
- ▶かんばん：くわがた虫
- ▶かんぶくろ：紙袋＊
- ▶かんぼす：空っぽ、転じて、頭が悪いこと、または人、類語：かぼんす
- ▶かんや（ん）ええ・～よか：肌寒い＊

[き]

- ▶きかっさん：聞いてもらえない＊
- ▶きがぬくる：気が抜ける＊
- ▶き〇た〇つつみ：つわぶき？、参考：〇〇〇〇を冷やすため、民間療法として用いた。
- ▶きしょくわるか←気色悪か：気持ち悪い
- ▶きじんどん：鬼神様
- ▶きぜわしか：気が急ぐ＊
- ▶きたにや・きたなか：汚い＊
- ▶きちぎゃあ：気狂い＊
- ▶きつか、きちい＝疲れた
- ▶ぎっちょ：左利き＊
- ▶きどぐち：木戸▶：家の門のすぐ側
- ▶きとらす：来ておられる、「きとらっさん」おいでになってない、「きなはらん」おいでにならない＊
- ▶きななか、きにゃあ：黄色い
- ▶きなっせ：来ませんか・来ましようよ・着てください＊
- ▶きのきかん：気が利かない＊
- ▶きのきく：気が利く＊
- ▶きのきつか：気がきつい＊
- ▶きのこまか：気が小さい＊
- ▶きのきく：気が利く＊
- ▶きのつよか：気が強い＊」
- ▶きのどっ（く）か：気の毒＊
- ▶きのむかん：気が向かない＊
- ▶きのんばん：昨晚＊
- ▶きにもしえ（せ）ん：気にかけない＊
- ▶ぎばる：がんばんって働く、推定由来：気を張る→きばる（他地域使用）→ぎばる
- ▶きびる：くびる・くくる＊
- ▶きみんわりい：気味が悪い
- ▶ぎめ、ぎめんちょ：バツタ
- ▶きめんごたる←ぎめのごとくある：バツタのように細い人
- ▶きもん：着物＊
- ▶きゃあくるう←かきくるう：頭が狂ってしまう

- ▶きゃあさんば←逆さま：逆さ、後ろ前、由来：全く不明
- ▶きゃあた：貸した・描いた・掻いた*
- ▶きゃあとく：香きとめておく、貸しておく
- ▶きゃくさる：腐る*
- ▶きやす：消す
- ▶ぎゃん←こぎゃん：「こ」の音を明瞭に発音しないため、消える場合がある。「あぎゃん」あのよう
に、「こぎゃん」このように、「そぎゃん」そのように、「どぎゃん」どのように*
- ▶きゆる：消える*
- ▶きょうじゃ：兄弟・姉妹*
- ▶きられん：着れない*
- ▶きらん：着ない・来れない*
- ▶ぎり←義理：親戚や地域社会間の冠婚葬祭の贈答などの社会的な義務
- 類語：ぞうよ=贈与、くみうち=組内
- ▶ぎりぎり：つむじ（まき）
- ▶きりこぐ：切り刻む、こぐ：小さく切る：確認由来：鏡花
- ▶きりのええ・きりのええ：区切りが良い：
- ▶きりのなか・きりにや：きりがいい*
- ▶きりや：嫌い*
- ▶きりよんよか：器量よし*

【く】

- ▶ぐ～・ち～・ぱ～：ぐ～・ちよき、ぱ～、参考：「ちよき」は親指と人差指
- ▶くいかけ：食べかけ・食べ残し*
- ▶くいこなさん：食べきれない*
- ▶くいでのある：食べがいがいい*
- ▶くいもん：食べ物*
- ▶くいよる：食べている*
- ▶くえん：食べられない*
- ▶くえる・くゆる：崩れる*
- ▶くう・くらう：食べる・食う*
- ▶くうたー・くた：（腹いっぱい）食べた*
- ▶くうてしもうた・くてしもうた：食べてしまった*
- ▶くうた・くた：食べた*
- ▶くうてよか・くてよか：食べていい*
- ▶くうとる：食べている*
- ▶～くさ、～くさい：断定接尾語：～だよ、～にきまっている、～だとも、「くさ」言語圏
- ▶くさか・くーさか・くしゃー：臭い*
- ▶くさす、つくぐずす、つくくさす：崩す、壊す
- ▶くさす←くさらす：けなす、くきおろす、否定的な批判をする
- ▶くぐずす：くずす、「くざれる」くずれる*
- ▶くされとる：くされてる*
- ▶くさるる：くされる*
- ▶くしゃあ：くさい*
- ▶ぐじゃっぺ：あばた顔*

- ▶ぐじゃぐじゃ＝くしゃくしゃ、くちやくちや
- ▶くじる：穴をあける・えぐる＊
- ▶くずるる：くずれる
- ▶～くせ：～のに、「しらんくせ」知らないのに＊
- ▶くだはり：ください＊
- ▶くたぶるる：くたびれる＊
- ▶くちなわ：←口縄：へび、ひらくち：まむし
- ▶くちんおもか：口が重い・口数が少ない（あまり喋らない）＊
- ▶くちんかるか：口が軽い・口数が多い（よく喋る）＊
- ▶ぐっさり、ぐっさる：たくさん、同義語：あばかん、たいぎや
- ▶くつたい：来ればいいのに、来なさい
- ▶くつど：来るだろう＊
- ▶くど：竈、かまど、「くどばた」かまどのそば＊
- ▶くどか・くでえ：くどい・しつこい＊
- ▶くびる：ひもをむすぶ、漢字：括る、くびる
- ▶くぶる・くべる：（火の中に焚き物を）入れる・燃やす＊
- ▶くまっしょ：クマゼミ
- ▶くまんしょ：地名：隈の荘
- ▶くみうち←組内：隣保組のメンバーの家、特に冠婚葬祭の相互扶助単位
- ▶くみやあ：組合、類例音：よりやあ＝寄合い、みやあ＝見合い
- ▶くやく：共同作業（道路補修など）、推定由来：公役、苦役
- ▶くやす：くずす・こわす＊
- ▶くらすみ：くらやみ・くらがり＊
- ▶くらする・くらわする：なぐる＊
- ▶ぐらりすつ、～する：がっかりする
- ▶くらわす・くらわせる：殴る
- ▶くりやあ・くらか：くらい＊
- ▶～ぐりや：～くらい、「そんぐりや」そのくらい、「こんぐりや」このぐらい、「あんぐりや」あのくらい＊
- ▶くれ：やれ（状況による）、「そっばくれちゃれ」それを（相手に）やれ＊
- ▶くるばい：そちらの方に行きます
- ▶くせころす←食わせ殺す：可愛さ余って幼児に死ぬほど食を与えること
- ▶ぐわいこく：外国＊
- ▶くわし：菓子＊
- ▶くわしゅう：詳しく＊
- ▶くわす（せ）る：食べさせる＊
- ▶くわせん：食べさせない＊
- ▶くわっそ：食べるだろう＊
- ▶くわにゃん：食べなきや＊
- ▶くわれん：食べられない＊
- ▶くわゆる：（口に）くわえる＊
- ▶くわん：食べない＊
- ▶くわんか：食べなさい＊
- ▶くわんじん：こじき（乞食）＊
- ▶くわづる：地名：桑鶴

[け]

- ▶け・けえ：来なさい、例：はよけ、1音命令語：せーしなさい、ね=寝なさい、くえ
 - ▶けしい、けすか：狡い、ずるい、由来：こすい→けすい→けしい、例：けしいねえ
 - ▶けしかくる：そそのかす*
 - ▶げせん：納得いかない*
 - ▶けたくる・けったくる：強くけつとばす*
 - ▶けたるか：けだるい*
 - ▶げだん：農家の家屋の土間と座敷の間の中段、由来：古代朝鮮語説もある
 - ▶げど：ろくでなし・げどう（外道）*
 - ▶けまつる：けつまづく、推定由来：蹴りもつれる→けもつれる→けまつる
 - ▶けみい：煙（けむ）い*
 - ▶～けん：～だから、原因、理由、例：宿題のあるけん遊ばれん、参考：関西：～けに
 - ▶～けんた・～けんたい：～だからです、「そっだけんたい」そのようだから、「そっけんた」それだか*
 - ▶～げんたい：～ようだ、「そげんたい」そのようだ、「こげんたい」このようだ、「あげんたい」あのようだ*
 - ▶けんけんしとる：きんきんしている（つつけんどんである）
-

[こ]

- ▶こいー・こいい・こいかあ：濃（こ）い*
- ▶～こう・～ごう：く・ぐ、「みじこう」短く、「なごう」長く*
- ▶～こうじ：～こんで、「とびこうじみなっせ」飛び込んでみなさい、「はなしこうじどげんすんなあ」話し込んでどうするの*
- ▶こうた・こおた：買った*
- ▶こうとる：買っている*
- ▶こうばる：のりが固まった状態*
- ▶こうも：こんなに、「こうもこまかね」こんなに小さいか*
- ▶ごうら：卑属語？：頭部、用例：ごうらんよかもんな（やや皮肉っぽい）
- ▶こえとり・こえくみ：こえ（肥）をくみ取ること*
- ▶こえたご・こえだめ：こえ（肥）だめ・肥料にするための糞尿を溜める大きな壺・瓶*
- ▶こが～：これ、「こが（ん）しこ」これだけ・これほど*
- ▶こがん・こぎゃん：この様に*
- ▶ごかんしょ：地名（五箇荘）
- ▶こぎゃ：古閑（集落）へ、「こぎゃいくばい」古閑にいこう*
- ▶こぎやしこ・こがしこ：これだけ、変化：そぎやしこ、あぎやしこ、どぎやしこ
- ▶こぎゃにや：こんなには、「こぎゃにやいらんばな」こんなに要りません*
- ▶こぎゃん：このように、変化：そぎゃん、あぎゃん、どぎゃん、「こぎゃんこつ」こんな事、「どぎゃんしたもん」こうしたもの、「こぎゃんたい」このようですよ、「こぎゃんなって」こうなって*
- ▶こぎる：値切る、確認由来：狂言記・仏師
- ▶こぐ：引き抜く*
- ▶こくる：こける・ころぶ*
- ▶～こくる・～他くる：（強意の助動詞）、「つつこくる」ひどくこける・落ちる、「うったくる」強く打つ*

- ▶ごくろなこつ=ご苦労なこと。参考：他人の苦労を客観的に冷笑するニュアンス
- ▶こけ・こけえ：ここに、「こけこい」ここに来なさい*
- ▶こげな・こげん：こんな・こんなに、「こげんあるたい」こんなにあるよ*
- ▶こさえる：準備する・盛り付けする・飾りつける*
- ▶こしい・こしー・こすい・こすかー：こそく（姑息）・ずるい*
- ▶こしかけ：椅子
- ▶こしこ：これだけ、「こしこはいよ」これだけちょうだい*
- ▶こしょう：唐辛子。コショウとの区別がない、例：ゆずごしょう=ゆずとうがらし
- ▶こしゆらゆる・こしらえる：身支度する・化粧する*
- ▶にすい。こすか←絞い：利にさとくずるい、けちである。同義後：けしい、かすか
- ▶こづく：咳（せき）がでる*
- ▶こずむ：積み上げる、「わらこずみ」稲刈り後にわらを積み上げたもの*
- ▶こそぎおとす：削りおとす*
- ▶こそつーと：こっそりと*
- ▶こそばいい：くすぐったい*
- ▶〜こた・〜ごた・〜こつあ：〜ことは、「そげんこたいわん」そのことは言わない*
- ▶こたえん：こたえない・身に染みない*
- ▶こたゆー：こたえる・身に染みる*
- ▶〜ごたる：ごとある：如くある：〜の様である、「〜ごたった」〜のようだった、「〜ごたっど」〜のようだろう、「〜ごたるふう」〜のようだ、「〜ごたろうたい」〜のようであろう*
- ▶〜ごつ←如く：〜のように
- ▶こち：こちら*
- ▶こちよぐる←こそばす：くすぐる、ちよっかいを出しじやまをする。刺激を与える
- ▶こちよばいい←こそばいい：くすぐったい
- ▶〜こつ：〜事、「そぎゃんこつ」そんなこと、「あぎゃんこつ」あんなこと*
- ▶ごつか：ごつい*
- ▶こつかり・こつかる：これから*
- ▶こつじゃ：これでは、「そげんこつじゃいかん」そんなことではいけない*
- ▶こつたい・これたい：これです*
- ▶こつだろ・こんだろ：これだろう*
- ▶こつち・こつちゃん：こちら・こちらへ、「こちこい」こちらにこい*
- ▶こつちさん、そつちさん、あつちさん、どつちさん：こつちの方向へ
- ▶こつちゃん、そつちゃん、あつちゃん、どつちゃん：こつちの方向へ。
- ▶ごつつおお：ご馳走
- ▶ごつつおおさん：ご馳走さま、参考：丁寧に言う場合「おごつつおおさん」
- ▶こつて、こつてうし：雄牛、由来：不明
- ▶こつて：これで*
- ▶こつてちゃ・こつてちゃ：これでも*
- ▶こつてん：これでも*
- ▶ごつとき=起きしなに、目がさめたらすぐに、推定由来：ごつ+起き
- ▶こつどん：こいつら*
- ▶〜こつば（ば）・〜こつば（ば）：〜事を、「あんこつば」あのことを*
- ▶こつびどう：ひどく*
- ▶こつむ：積み上げる、用例：とべこずみ=田んほの藁こづみ
- ▶〜ごて：〜ごとく、「ばかごていわした」馬鹿のように言われた*

- ▶ことつけ：ことづけ*
 - ▶こないだ←このあいだ=この前、分析：リエゾン「のあ」→「な」、同義語：さいぜんに
 - ▶こなす=痛めつける、いたぶる、いじめる、圧力をかけて力を封じる
 - ▶になす=共通語：軽く課題達成をする、何でも軽くやり遂げる
 - ▶こぼりつく：へぼりつく*
 - ▶ごはんのとも：ご飯の友：ふりかけの商品名：転じてふりかけ一般
 - ▶こぶ：①こんぶ、②物妹
 - ▶こぶ：蜘蛛
 - ▶ごぶづけ：切干し大根の醤油漬、由来：五分漬、長さからきている
 - ▶こぶのす：蜘蛛の巣
 - ▶ごぶれいする・～します：失礼する・断る*
 - ▶こぶるる：こぼれる*
 - ▶こまか・こみやきや・こめえ：こまかい、「こみやこついゆんな」小さいこと言うな*
 - ▶こまかとき：子供のころ*
 - ▶ごもくそ：ゴミ*
 - ▶こやし：肥料
 - ▶こやつ：こいつ*
 - ▶こやつどん：こいつら*
 - ▶こらし：来なさい*
 - ▶こらす：（こちらに）来る
 - ▶こらっさん：おいでにならない*
 - ▶こらゆる←こらえる：耐える、「こらえきらん」耐えられない、「こらえちくれ」堪えてくれ*
 - ▶ごり：（主として野生の）ウリ
 - ▶こるが：これが*
 - ▶こるかり・こるかる・こりから：これから*
 - ▶こるば・こりば：これを*
 - ▶こるも・こりも：これも*
 - ▶こるまめ、こり～：納豆、推定由来：麴豆→こうじ豆→こる豆・こり豆
- 参考：他地域の殆んどは醤油味、塩味付は珍しい
- ▶これしこ：これだけ
 - ▶こわや：怖い・硬い*
 - ▶こわる=（肩などが）凝る、用例：かたんこわっとる：肩が凝っている
 - ▶こん：これ*
 - ▶こん：来ない*
 - ▶こんだ：この度は*
 - ▶こんたび：この度*
 - ▶ごんばこ：ゴミ箱*

【さ】

- ▶～さ・～か：（接尾語）、「さむさ」寒い、「あつさ」暑い*
- ▶さいぜんな←さいぜんには←最前には：つい先ほどは、先刻は
- ▶さいなら：さよなら・さようなら*
- ▶さかいんねん：逆恨み、逆切れ
- ▶さかっとる：交尾している*

- ▶さかむけ：て指先のささくれ*
- ▶さきそぼり：だんだんとすぼまる・だんだんと衰える*
- ▶さくら・さくらにく：馬肉*
- ▶さけ：九州南部では焼酎のこと、参考：水俣付近の緯度が米醸造酒の南限という
- ▶さこんたん：坂乃谷（地名：万徳から小園に降りていく谷間）
- ▶さしくべる・～ぶる：（火の中に薪などを）差し入れる*
- ▶さしおり、さしより：とりあえず、取り急ぎ、今のところ、推定由来：さておき
- ▶さす：（花が）咲く
- ▶さする：手でさする*
- ▶さぞ：よほど、「さぞよかる」よほどいいだろう*
- ▶さたんなか：たより（便り）がない*
- ▶さっかる←さっきかる：さっきから
- ▶～さっさん：～しない、「なんもさっさん」何もしない*
- ▶さでこくる・さてこける＝落ちてしまう、倒れてしまう、推定由来：古語さて+こける
- ▶さでる：さらえる・すくいとる*
- ▶さばくる：テキパキと処理ができる・ものわりが良い*
- ▶さばけもん：テキパキと処理できる人*
- ▶さときび：サトウキビ
- ▶さまにゃあ・ざまなか：見苦しい、推定由来：様にならない→様ない→ざまにゃあ
- ▶さみい、さむか：寒い
- ▶さみーど：寒いだろ*
- ▶さむしか・さみしか：寂しい*
- ▶さむる：熱意がさめる・色がさめる*
- ▶さめとる：冷めている*
- ▶さろく、さるく：うろうろする、推定由来：さ歩く→さるく、「さ」は古代接頭語口～さん：～へ、例：東京へ、比較：東京さ：東北地方、文法：方向性（対目的性）
- ▶さるまた：パンツ*
- ▶～さん：～の方へ、「あっちさん」あちらの方へ、「どこさん」どこへ、「むこうさん」向こうの方へ、「いかっさん」行かれない、「いなっさん」かえられない*
- ▶さんばさん：助産婦*

[し]

- ▶しいとる・すいとる：好いている*
- ▶しいくわ：スイカ、推定由来：中国語：西瓜：し～ぐあ、とも考えられる）
- ▶しえみ：せみ*
- ▶しかかる：し始める*
- ▶しかくる：（罨など・喧嘩などを）仕掛ける*
- ▶しかけらるる：（喧嘩などを）仕掛けられる*
- ▶しかつにゃ：たいしてない*
- ▶しかと：ちゃんと・確かに*
- ▶しかぶる：〇〇を漏らす、類語：たりかぶる、なっかぶる、ひっかぶる
- ▶しかるる：（車に・尻に）ひかれる*
- ▶じき・～に：すぐに・直ちに*
- ▶～しきや：～しか・～だけ、「これしきや」これだけ、「それしきや」それだけ、「あれしきや」あれだけ*

- ▶～しきらす・～しきる：～できる＊
- ▶～しきらん・～しきりやせん：～できない＊
- ▶じぐろ：生まれながらにして肌色が黒い＊
- ▶しけた：しまった・困った＊
- ▶しけとる：しょげている＊
- ▶しける・しけとる：湿っている＊
- ▶しこ：～ほど・～だけ、①準備、例：はよしこせんか、②量、程度、例：これしこ、「あるしこ」あるだけ、「ええしこ」好きなだけ、「えらいしこ」たくさん、「こしこ・これしこ」これだけ、「どしこ」どれだけ＊
- ▶しこ：準備、段取り、推定由来：仕込む→しこむ→しこ（むの音が消えた）、推定参考：仕込む→仕掛かる→仕舞う、「しこしなっせ」準備しなさい＊
- ▶しごつ：仕事、文法：「と」が「つ」に転化、類例：おおごつ。なきごつ、なんごつ
- ▶しこなす：処置する・やりこなす、「しこなさん」やりこなせない＊
- ▶しこる：作物がよく育つ、推定由来：凝縮→し凝る→密集する→繁栄する→育つ
- ▶しこんええな←しこがよいですな：挨拶語：準備がいいですね
- ▶じじこつ＝みやまくわがた、地域差：ななばけ：山西、じじこつ：河原
- ▶したん～：
- ▶したんだん←下の段：家より下の方の田畑、段々畑や棚田の下の方、対：うえんだん
- ▶～じ：接続助詞：～で、用例：あゆじ＝徒歩で、くるまじ＝自動車で、とうじ二飛んで▶しちやくちや、しちゃんくわちゃん＝めちやくちや、全く序を失っている状況
- ▶しとぎ：家屋竣工のお祝いの一環として屋根上から餅を撒くしきたり、古代儀式語
- ▶じどさん←じぞうさん：お地藏様
- ▶しまいにや←しまいには：最後には（調子に乗ると～けがするぞ）
- ▶しまう：片付ける、まとめる、類語：なおす
- ▶～しまっしゅ：①勧誘語：～しましよう、②提案：（私が～してさしあげましよう
- ▶～しまっしよ：～しましよう
- ▶しみやあ←しまい：おしまい、終わり
- ▶した←しもうた：しまった（失敗の後悔）
- ▶～したつか・～な・～ね・～や：～しましたか・～やりましたか＊
- ▶～したて・～したっちゃ：～しても（仮定）、「そぎゃんみたっちゃ」そんなに見ても＊
- ▶じべた：地面＊
- ▶しちやある・しちやる：してやる・してあげる、
- ▶しちやかちや・ひちやくちや：めちやくちや＊
- ▶しっか：しっかり・すごく＊
- ▶しったこっか：知ったことではない（知らない）＊
- ▶しってばしおるごつ：知りもしないで＊
- ▶しっちやかめっちやか：めちやくちや＊
- ▶じっとしとれ：静かにしておれ＊
- ▶～して：（接続語）・する・なす、「さむうして」寒くて、「～してはいよ」～してください、「～しとく」しておく＊
- ▶しとられん：しておれない＊
- ▶～しなす：してしまふ、「～しなすな」しなさんな、「～しなっせ」しなさい、「～しなはった」されました、「～しなはる」される＊
- ▶しなわす：やり直す＊
- ▶しなれんこつ：慣れないこと＊
- ▶しの：収穫＊

- ▶しづか・しびー：渋い、「しづちん」けち・けちんぼ*
- ▶しづとか・しづてえ：しづとい*
- ▶じぶん：相手・あなた・君、〈自分自身のことではない〉*
- ▶じべた：地面*
- ▶しまいがた：終わりじぶん*
- ▶しまう：完了する・収納する*
- ▶～しまっしゅ・～しまっしょ：～しましよう*
- ▶～しまっせん：～しない*
- ▶しみゃあ：終わり*
- ▶しむ・しゅむ：しみて痛い*
- ▶しもた・しもうた：しまった、「くうてしもうた」食べてしまった*
- ▶～しゃ：（接尾語）～さ・～がる、「ほっしゃする」欲しがる*
- ▶～じゃ：（接尾語）～だろう・～では、「そんじゃなかね」損するのではないか*
- ▶じゃあこん・じゃあこ：卑属語：大根
- ▶しゃあた：咲いた*
- ▶じゃあとく：出しておく、反対語：なおしとく：しまっておく
- ▶じゃいけん：じゃんけん、由来：戯れ拳→じゃれけん→じゃいけん：原語に近い？
- ▶しゃかき：柿*
- ▶しゃかん：佐官*
- ▶しゃぐ：押しつぶす、「ひっしゃぐる」おしつぶれる*
- ▶～しゃがる：してしまう*
- ▶じゃぜまめ、ざぜまめ：大豆を煮て醤油と砂糖で味付けした料理、推定：上膳豆
- ▶しゃづつ、しゃあづつ＝木槌、木つち、類語：かなしゃづつ：金、かなづち
確認由来：さいづち（才）は小型の木の槌であるから、金槌を「金才」はおかしい
- ▶しゃまぎる＝邪魔すること、推定由来：「邪魔」と「遮る」の合成語？
- ▶～しゃする：（接尾語）～そうにする・～がる、「きっちやする」きつそうにする*
- ▶～じゃーにやーか・～じゃあにやあか：～しようではないか？
- ▶しゃベくる：喋りまくる*
- ▶じゃまくる：じゃまをする*
- ▶～しゃん：～様：親しい者に対する敬称、類例：つあん、やん
- ▶しゃんむり：むりやり*
- ▶しゅう・しゅい・しゅうい：①する、②しましようよ、例：しゅう、しゅうたい、しゅうごつにやあ
- ▶しゅうか：しょうか、例：どぎゃんしゅうか：どうしたらよいものか
- ▶しゅうぎ←祝儀：結婚式
- ▶じゅぐしがき←熟柿柿：熟柿
- ▶じゅったくれ：雨でぬかるんだ場所または道
- ▶じゅったんぼ：ぬかるんだ田んぼ、転じて、雨でぬかるんだ場所または道
- ▶じゅるか・じゅりい：じめじめやじゅくじゅくした状態*
- ▶じゅるみち：ぬかるんだみち*
- ▶しよ：生き物？、推定由来：生→しょう→しよ、推定例：くまっしよ、
する「なんしよつと」何しているの*
- ▶～しよ：（疑問等の意を表す接尾語）～と思うか、「なんしよ」何している・何でしょう*
- ▶しよい：勧誘語：しましようよ
- ▶しよい：醤油
- ▶しよいのみ←醤油の実：モロミ、金山寺納豆
- ▶しょうけ：ざるの一種、推定由来：塩受け→しおうけ→しょうけ、塩の抽出道具

- ▶しょうごたる：したい*
- ▶しょうべんたんご・しょんべんたんご：小便樽（小使用のトイレ）・小使用の肥溜め
- ▶しょうろさん？：アカトンボ？、8月中下旬に発生することからご先祖様とも言われる
推定由来：鐘楼さん
- ▶じょうり、じより：草履
- ▶しょげむ：ねたむ*
- ▶しょちゃ＝賄い、家事、用例：はよいんでしょちゃせんと、推定由来：所帯、世帯
- ▶しょて、しょうて：昔、以前は、推定由来：初手
- ▶しょなみ・しょねむ：ねたみ・ねたむ*
- ▶じよろこぶ：女郎蜘蛛
- ▶しょぼくれた：しょんぼりした・落ち込んだ様*
- ▶～しよらす：～していらっしゃる：敬語の語尾、現在進行形
- ▶～しよる：～している：現在進行形
- ▶じよんこつ：常に・いつものこと*
- ▶しょんべん：小便（しょうべん）*
- ▶しょんなか、しょんにやあ：仕様がな、仕方がない
- ▶しょんなし←仕様なしに：しかたなく、しょうがなく
- ▶しょんにや：仕方ない*
- ▶～しょんなはる、～しょんなる：～していらっしゃる、最高級の敬語
- ▶しょんべんしかぶる：小便をもらす*
- ▶しらい←しろあえ：白和え（料理）
- ▶しらくるる：色あせる*
- ▶しらくれとる：しらばっくれてる*
- ▶しらっさん：知らない・知っていない*
- ▶しらん：知らない、「しらんごたんな」しらないようですね、「しらんばな」しらないよ*
- ▶しりあがり：（鉄棒の）逆上がり
- ▶しりお：尻尾、参考：共通語の「しっぽ」より正確な表現だと思われる。
- ▶しりがりい：動作が活発なこと・よく気が聞くこと・浮気者*
- ▶しりっぽ：尻尾*
- ▶しりみやあ：知らないだろう*
- ▶しれえ・しろか：白い*
- ▶しわがるる：（声が）しおれる*
- ▶しわくちゃ：しわが寄ってくしゃくしゃになる様*
- ▶じん←じぶん：あなた、君、参考：西原地方ではあまり使用されないと思われる。
- ▶しんかる←しんから：心から、芯から
- ▶しんきくしゃ：陰気なこと・じれったいこと・もどかしい*
- ▶しんじゃんしきらん＝手に負えない、始末に負えない、推定由来：身上仕切れない
- ▶しんどか：大変だ*
- ▶しんぬぐい・しりぬぐい：後始末・おしりふき*
- ▶しんびゃあ：心配、「ばい」を「びゃあ」と発音、類例：いっぴゃあ
- ▶しんぶんがみ：新聞紙
- ▶じんべん・～な・～に：めずらしく、「じんべんにきなはったな」めずらしく来られましたね*

[す]

- ▶す：穴、身体各穴、関連共通語：すかさか、参考：蜂の巣は「宿」と「穴」の兼用語？

- ▶～す・さす・らす：（尊敬の助動詞）～れる、「おおごつさす」大歓迎される、「きよらす」来ておられる、「むんなこつばいわす」無理かことを言われる＊
- ▶すうすうする：冷え冷えする＊
- ▶すいー・すいか：酸っぱい＊
- ▶すいかんぼ：（植物）すかんぼ
- ▶すいきょう：酔狂：酒乱
- ▶すいとる←好いとる：好きである、惚れている
- ▶すかたん・すこたん：とんちんかん・ばか・間抜け＊
- ▶すかつさん：好いていない＊
- ▶すかん：好かない＊
- ▶ずぐあ：図画＊
- ▶すこたん：とんま・まぬけ・たわけもの＊
- ▶すずめぎゃあ：しじみ＊
- ▶すそ：末・末子、「すそむすこ」末の息子、「すそむすめ」末の娘＊
- ▶すたむる：液体の最後に一滴まで残らず絞り出し使用する
- ▶すっこむ・すきこむ：引っ込む・退く・田んぼや畑に肥料や草を耕し混ぜ込むこと＊
- ▶すったくれ・すったくろ：こすい（人）・とぼけた（人）・ふざけたような（人）＊
- ▶すったまがる：本当にびっくりする＊
- ▶～すつと：～すると、～すれば、文法：と言語圏、ば言語圏
- ▶すつとぼけ：全く知らないふりをする＊
- ▶すつぺ・しつぺ：中指で弾く罰、「しつぺがえし」しつぺの仕返し＊
- ▶ずつなか・ずつにゃあ：仕方ない・どうしようもない・やるせない＊
- ▶すびく：寒さが身にしみる、「はにすびく」歯が冷たい水で敏感になる＊
- ▶すべったくる（る）：滑って転ぶ
- ▶すみゃーとる：すまし込んでいる・平気な顔でいる＊
- ▶すまんばってん：すまないが＊
- ▶すむ：（川の水などが）澄んでいる＊
- ▶すめん：しらふの顔・素颜＊
- ▶ずりい：こすい・ずるい＊
- ▶すりこくる：強くこする・擦りむく＊
- ▶ずりさがる：（ズボンなどのベルトが）緩んで（ズボンが）さがる＊
- ▶すれとる：こすれている・悪賢い、「すれとらん」うぶだ＊
- ▶すんだこつ：すんだこと・終わったこと＊
- ▶すんな：するな＊
- ▶すんまつせん：すいません＊

[せ]

- ▶せ：命令形：しなさい、1音命令語、類例：け＝きなさい、ね＝寝なさい
- ▶せいしょこさん：加藤清正公
- ▶～せえ：（命令の意の接尾語）～しろ、「はよせえ」早くしろ＊
- ▶せえいっぱい：精一杯＊
- ▶ぜ～たく、ぜえたく：ぜいたく、贅沢
- ▶ぜ～たん、ぜえたん・ぜえたんぼ：ドブ・溝（家の周りに雨樋から落ちた水が流れる溝など）＊
- ▶じえーんぶ：全部＊

- ▶せかつとる：（戸などが）閉まっている＊
- ▶せからしか：うるさい・騒がしい＊
- ▶せきとう：墓石＊
- ▶せく：ふさぐ・咳（せき）、用例：戸口ばせかんか、確認由来：塞く、推定：関との関連
- ▶～せく：～急ぐ、「きがせく」気をもむ、「はらんせく」胃が痛む＊
- ▶せくと：閉めますか＊
- ▶せくな：閉めるな＊
- ▶せこか：せこい・ずるい＊
- ▶せせる：触る・いじる＊
- ▶せーせーする：せいせいする・すつとする＊
- ▶せちがりゃあ：せちがらい・暮らしにくい・けちだ・抜け目がない＊
- ▶せっきる：閉め切る・（川の水を貯めるために）堰をする＊
- ▶せっこむ：咳（せき）こむ・淡てる＊
- ▶せつにや：心苦しい＊
- ▶ぜっぺき：後頭部が平らな状態＊
- ▶せーとる：混み合っている＊
- ▶～せにや・～せな：～しなくては（義務の意を表す助動詞）、「あいてにせにやいかんばい」相手にしないといけないよ＊
- ▶ぜに（ん）：銭・お金、「ぜにくいむし」金がかかる人、「ぜにくう」金が掛かる＊
- ▶せにゃんたい：しなければいけないよ、弱い命令語
- ▶せばむる：せばめる＊
- ▶せびゃあ、せばか：狭い
- ▶せび（ぶ）らかす：からかう・見せびらかす＊
- ▶せわやく：面倒をみる
- ▶せまかー・せみゃー：狭い＊
- ▶せわなか：しょうがなか＊
- ▶せわなし・～たい・～ばい：心配ない・大丈夫＊
- ▶せわにゃならん：世話にはならない＊
- ▶～せん：～しない＊
- ▶ぜん：銭・お金、「ぜんもつとるか」お金持っているか、「ぜんもち」お金持ち＊
- ▶～せんか・～い・～いた：～しろ、「はよせんか」早くしろ＊
- ▶せんぐり：順繰り＊
- ▶～せんどつてくれ：～しないでくれ＊
- ▶～せんな：～して、「はよせんな」早くしてくれ＊
- ▶せんすい：庭の池、推定：泉水、洗水
- ▶せんたたん：（水の深さで）背が立たない＊
- ▶～せんばい：しない、「そりゃせんばい」それはしないよ＊
- ▶せんな：しませんか、勧誘語

[そ]

- ▶～ぞ：（協調の接尾語で相手への強制の意）～よ（共通語）
- ▶そうしき：葬儀
- ▶そうばい・そげなばい：そのとおり＊
- ▶ぞうさなか：簡単なこと＊

- ▶ そうたい (ね) : そうです (ね) *
- ▶ ぞうたん : 冗談、推定由来 : (憑性の薄い) 雑談→ざつだん→ぞうだん→ぞうたん
- ▶ ぞうたんのぞつ←じょうだんのごとく : じょうだんでしょう
- ▶ ぞうよ←贈与 : 中元・歳暮等の贈り物、漢字 : 贈与、関連 : 贈答、類語 : ぎり : 義理
- ▶ そうろそろ : そろそろ・ゆっくりゆっくり*
- ▶ そぎやしこ・そがしこ : それだけ、参考 : 「しこ」は「量」「程度」の表現
- ▶ そぎゃん・そぎゃーん : その様に
- ▶ そぎゃんこつ : そんなこと*
- ▶ そぎゃんそぎゃん : それそれ・そのように・そのとおり・そうだそうだ*
- ▶ そぎゃんた : そのとおり・そんなのは、「そらそぎゃんた」それはそのとおり、「そぎゃんたいらん」そんなのはいらぬ*
- ▶ そぎゃんと : そんなの・そんなもの*
- ▶ そげん : そんな・そんなに、「そげんあるな」そんなにありますか*
- ▶ そこたい : そこです*
- ▶ そこがたい : そこが、「そこがたいいえんとたい」そこが言えないのよ*
- ▶ そぎす←損ぎす : 他動詞 : 壊す
- ▶ そしこ、そるしこ・それしこ : たったそれだけ、「しこ」 : 「量」「程度」を意味する
- ▶ そしてっちゃ・そしてちゃ : そうしても*
- ▶ そすと・そすとしゃ・そすとしゃが : すると・そうすると*
- ▶ そざる、そぜる←損じる : 自動詞 : 壊れる、傷む
- ▶ そっここ : そっここ :
- ▶ そったあ・そっちゃ : それより、「そったあいわん」それより以上だ*
- ▶ そったい : それです*
- ▶ そっだけん : それだから*
- ▶ そっちゃん : そちらに*
- ▶ そっで : それで*
- ▶ そっでん : それでも*
- ▶ そっちやいわん : それより以上だ*
- ▶ そっところとは : それとこれとは*
- ▶ そっどころか : それどころか*
- ▶ そどばるる = 暴れる、推定 : そとであばれる (外内仏) 、外で暴れなさんな
- ▶ そびく・ぞびく : 引きずる*
- ▶ そやつ : そいつ*
- ▶ そらー・そら・そりゃ : それは、「そらーいかん」それはいけない*
- ▶ そりくりかえる : ふんぞりかえる*
- ▶ そるが : それが、「そるがよか」それが良い*
- ▶ そるがたい : それがですね*
- ▶ そるかる : それから*
- ▶ そるくりゃ : そのくらい*
- ▶ そるだけん・そっだけん : それだから*
- ▶ そるばいうなら : それを言うなら*
- ▶ そるばってん : そうでしょうがしかし、由来 : 「ばってん」の由来は永遠の謎
- ▶ そるばってんがあんた : そうでしょうがしかしあなた
- ▶ そるもよか : それも良い*
- ▶ そろびく = 引きずる、長すぎる着物の裾などを床などに引きずり歩くこと、類 : そびく
- ▶ そろり : みんな・そっくり*

- ▶そん：その、「そんうち」そのうちに、「そんくりゃ」そのくらい、「そんつぎ」その次、「そんひと」そのひと、「そんまま」そのまま*
 - ▶そんなら：それじゃ*
-

【た】

- ▶だあるも：誰も、「だあるもおらん」誰もいない*
- ▶～たい：～ですよ、～たらいかがですか、断定の語尾、例：はよ寝んといかんたい
- ▶たいきやにや←仰々しくに：大いに、相当に、大根に、由来：古語、出例：海祭
- ▶たいぎやあ：相当な*
- ▶たいぎやにやしとけ：たいがい、いい加減に、ほどほどにしておきなさい
- ▶たいしたもんばい：立派なものだ*
- ▶たいせつ：大変だ・やめておこう、「たいせつなこつばい」大事だ*
- ▶～たいわん：～以上だ、「そつたいわん」それ以上*
- ▶～たおす←～とおす：つらぬき通す、例：言いたおす→言いつらぬく
- ▶たおるる：倒れる*
- ▶～たか：（願望を表す接尾語）～したい、「いきたか」行きたい*
- ▶たかゆ、たかゆばる：地名：高遊原、特徴：長音の「う」が消える
- ▶たかんぼ←竹空んぼ：竹筒
- ▶たきつくる：焚き付ける*
- ▶たきもん：薪：焚きもの、特徴：「の」が「ん」になる
- ▶たきやー・たかか：高い*
- ▶たぎりあがる・たぎりよる：沸騰している*
- ▶～たくる：（助動詞・強意の接尾語）～ちらかす、「ふんたくる」踏みちらかす、「うったくる」打ちまくる、「ほたくる」放り捨てる*
- ▶たけやま：竹林
- ▶たけんこ←竹の子：筍
- ▶～だけん：～だから、「そつだけん」それだから*
- ▶たご、たんご←担桶：担い桶、たご桶、「しょんべんたご」小便桶*
- ▶だご：だんご
- ▶だごさん：だんご
- ▶だごじゆる：だんご汁、みそ～：味噌仕立ての、しょい～：醤油仕立ての
- ▶だごばち：大形のスズメバチ
- ▶だしかえる：立て替える*
- ▶～だす・～だし：～しでかす・出す、「かいだし」買い物、「くいだす」食べ始める、「くつだす」汲み出す、だす」繰り返す、
- ▶～ださん：～られない、「くいださん」食べられない*
- ▶たっかー・たかかー・たきやー・たけー：高い*
- ▶～たっしやする：～したがる、「いったしやする」行きたがる、*
- ▶～たっちや：～しても、用例：行つたっちやよかたい＝行つてもよいですよ
- ▶だれでろ・だれてろ・だつでん：誰でも*
- ▶だっだろか：誰だろうか*
- ▶だつでんかんでん：誰でも彼でも、誰彼となく
- ▶だっどん：誰たち*

- ▶たてこうでどる：混雑している*
- ▶たのき：ためき
- ▶たばこぼん：灰皿
- ▶たべんな：食べな・食べたら*
- ▶だまかす：だまくらかす：だます*
- ▶たまがる：驚く、推定由来：田曲がる：田が曲がるほど大変な、魂が上がる説もある
- ▶たまったもん：耐えられない*
- ▶たまらん：我慢できない*
- ▶だまっとらす：黙っておられる*
- ▶だまっときなっせ：黙っててください*
- ▶だまっとけ・～れ：黙っている*
- ▶たまらん：貯まらない*
- ▶たよりつけ、たよっつけ←便り付け：訃報
- ▶だらくる：だらける*
- ▶だらしか：だらしない*
- ▶たらん・たりん：足りない*
- ▶だりい：だるい*
- ▶たりかぶる：卑属語：〇〇を漏らす、醜い、推定由来：垂れ被る
- ▶だる・～か・～な・～ね・～や：誰*
- ▶～だるけん・～だけん：～だから・～ですから*
- ▶だれとる：疲れている*
- ▶だれっちゃあなか：誰と決まったわけではない*
- ▶～だろたい：～だろう・～でしょう、「うそだろたい」嘘でしょう*
- ▶たわす：倒す*
- ▶たんぎゃく：小さい蛙、推定由来：田の餓鬼
- ▶だんきよ、だんきゅう：らっきょう
- ▶たんくろ：田のくろ
- ▶たんくろまめ：田のくろに植える豆、大豆、そら豆など、田んぼへの窒素補給効果？
- ▶たんなか←田ん中：たんぼ
- ▶たんべんに・たびに：その度に*

[ち]

- ▶～ち：～て、「くうちみなっせ」食べてみて*
- ▶ちいと：少し
- ▶ち～とらん：(運が)ついていない、(電灯などが)ついていない
- ▶ちいとる←ついとる：①点いている、例：灯りのちいとる：灯りが点いている
②ものがくっ着いている、例：くちもてごはんつぶのちいとる
- ▶ちいーとばかり：わずか・ちよっとばかり*
- ▶ちがわん：間違いなし・違ってない*
- ▶ちきやー：近い*
- ▶ちぎやー：違う*
- ▶ちきり：天秤(てんびん)はかり*
- ▶ちこらしか←ちこらしい：親しい、なれなれしい、推定由来：近寄りやすい
- ▶ちじゅむ：自動詞：縮む、萎縮する、反対語：ひろがる、のびる
- ▶ちじゅむる：他動詞：縮める、反対語：ひろぐる、ひきのばす

- ▶ちぢくれる・ちぢこまる：小さくなる*
- ▶ちぢゅうどる・ちぢゅんどる：小さくてる*
- ▶ちっとどみや・～ま：少しぐらいは*
- ▶ちっとばかり：ちっとばかり・僅かに*
- ▶ちっとどま：少しぐらいは*
- ▶ちっとん：少しも・ちっとも、「ちっとんわからん」少しも分からない*
- ▶ちどめぐさ←血止草：よもぎ、「ふつ」が一般的な表現
- ▶ちびっと：少しばかり
- ▶ちびる：もらす*
- ▶ちゃあへんにやあ：退屈だ、大変でない→変化がない→刺激がない
- ▶ちやいなまぶる←チャイナマール：駄菓子的一种
- ▶ちやおけ：お茶うけ、お茶菓子、漬物の場合もある
- ▶～ちゃん：～の方へ、「あっちゃん」あちらへ、「こっちゃん」こちらへ、「そっちゃん」そちらへ*
- ▶ちゃんくあら、ちゃんから：今にも壊れそうな安物、推定由来：記載不可
- ▶～ちゅうはなか・～にや：～と言ったらない、「あほちゅうはなか」アホと言ったらない*
- ▶～ちよく：～しておく、「うっちよく」放置する*
- ▶ちよつきり：丁度*
- ▶ちよこつと：僅か・ほんの少し*
- ▶ちよちよくる・～くらかす：冷やかす*
- ▶ちよびつと：僅か・ちよつと*
- ▶ちよぼつと：僅か・ちよつと*
- ▶ちらきゃーとる：散らかしている*
- ▶ちんぎる・つんきる：ちよん切る・ちぎる*
- ▶ちんば：びつこ、「かたちんば」不揃い*

[つ]

- ▶～つ：～の物、おるがつ：私の物、所有代名詞
- ▶～っ：“つ”への転訛・これで→こっで・いると→いっと・だれでも→だっでん*
- ▶つうじん：通じない*
- ▶づうたい：身体、「づうたいのふてえ」体が大きい*
- ▶つえー：強い*
- ▶～つか・～つな・～つね・～つや：～のか、「したつか」したのか、「行ったつか」行ったのか*
- ▶つかえ(ゆ)る：胸につまる・喉につまる・物が引っかかる*
- ▶つかつとる：浸かっている・使っている*
- ▶つかまゆる：捕まえる*
- ▶つきあげ：さつまあげ
- ▶つきあみ←漬けあみ：オキアミの塩漬け、塩辛、参考：沖漬け
- ▶つぎんたび：次の度・次回*
- ▶つぐ：もる、「めしをつぐ」飯をもる*
- ▶つくじる：①つつく、転じて②ちよっかいを出す
- ▶つくったっちゃ：作っても*
- ▶つくっしょ：つくつく法師、しょ：セミ
- ▶つくりごつ←つくりごと：作り話、フィクション、嘘ごと
- ▶つけ：掛けでものをかうこと、言用買い

- ▶つけもん：漬物＊
- ▶つこうてしもた：使ってしまった＊
- ▶つこける・つっこける：こける・ころぶ＊
- ▶つこかす・つっこかす：落とす・倒す・押し倒す＊
- ▶つこくる・つっこくる：転ぶ＊
- ▶つごんよか、つごんええ：都合が良い
- ▶つごんわるか、つごんわりい：都合が悪い
- ▶っだけん、そっだけん：それだから
- ▶～っそ・～っそたい：～するだろう、「いかっそたい」行かれるだろう＊
- ▶づたぶくろ：大きな袋＊
- ▶つつかかる：引っかかる・突き当たる＊
- ▶つつくずす・つつくやす：こわす＊
- ▶つつくやす：壊す＊
- ▶つっこかす：落とす＊
- ▶つったまがる：びっくりする＊
- ▶つつーで：包んで＊
- ▶つつとぼけて：知らんふりして＊
- ▶つっぱる＝共通語：支える
- ▶つっぽぐ：穴をあける・穴をつきあける＊
- ▶つつみ←堤、大切畑ん堤、布田ん堤：堤防が転じて池を意味する？推定由来：包む海、風呂敷＊
- ▶つと：納豆を発酵させ保存する稲藁製の包み、推定由来：包筒→つつとう→つと
- ▶つとむる：務める＊
- ▶つばつける：唾をつけ自分のものと示すこと（標準語）＊
- ▶つばな：チガヤの花穂、食可能、春の季語
- ▶つまぐれ：ほうせん花の異名、爪紅、妻紅
- ▶つまらんこつ：つまらないこと＊
- ▶つまらんもん：価値のないもの＊
- ▶つめちゃあ、つめたか：冷たい
- ▶つもる←つん折る：摘む、折る
- ▶つりゃ・つらか：辛い＊
- ▶づる、ずる←いずる、出る：出る
- ▶つれや←連れ合い：配偶者
- ▶つん～、つっ～：接頭語、つん+動詞：積極性、意外性、語調を整える
- ▶つんかぐ、つつかぐ：他動詞：折る
- ▶つんかげる、つつかげる：自動詞：折れる
- ▶つんくずす、つんくずす：壊す
- ▶つんこける、つっこける：つまづいて倒れる
- ▶つんたおるる、つったおるる：つまづいて倒れる
- ▶つんぬくる・～ける：抜ける・つきぬける＊
- ▶つんのぼせる：のぼせる＊
- ▶つんつくろう、つつつくろう：取り繕う、つん：接続詞、共通語：とつつくろう
- ▶つんなう・つんなう・つんのう：同行する、「つれしょんべん・つれしょん」一緒に小便をすること
- ＊
- ▶つんばる：支える＊
- ▶つんぼぐ：つきやぶる＊
- ▶つんまがる：曲がる＊

- ▶つんむく：(皮などを) むく*
- ▶つんむしる：(草などを) むしる*

【て】

- ▶～て：(文末につく事柄の伝聞の意の助詞) ～と・～のに、「しらんて」知らないと*
- ▶で：(量・質の) 価値があること、「でのある」価値がある、「でのにや・でのなか」価値がない*
- ▶ていっぴゃあ：手がいっぱい・手がふさがっている*
- ▶てがでん・てのでらん：手が出ない・買えない・その気がない*
- ▶でくっだけ：できるだけ*
- ▶でくる・でける：できる・頭がいい、「でけたひと」立派なひと*
- ▶でけとる：(果物が) 熟している・立派である*
- ▶でけ(き)もん：できもの・腫瘍(しゅよう)*
- ▶でけ(く)る：できる、「でくっか」できるか*
- ▶でけん：できない、「でけんどこか」できないだろうか*
- ▶でけんたい：できないですもの(不可能)、してはだめですよ(弱い禁止)
- ▶てしお、てしょう：①手塩皿の略②食膳の少量の塩③心から世話をすること
- ▶でしゃんばらしか=目障りな、しゃしゃり出過ぎる、推定由来：でしゃばる+らしい
- ▶～でっしゅ・～でっしょ：(丁寧語)～でしょう、「そっでっしょ」それでしょう*
- ▶てつきゅう：鉄灸、鉄、魚や餅などを焼く網、鉄橋とも書く
- ▶～てったい・～てたい：～ということらしいですよ
- ▶てっとりばよう：手っ取り早く・素早く*
- ▶てづま：手品、奇術、古代語：例：浮世草子
- ▶～てちゃ・～てちゃあ・～でちゃ：(接続詞)～でも・～にしても、「そしてちゃ・そんでちゃ」それでも*
- ▶てちんご、ててんご=じっとしておれなく手遊びすること
- ▶てて：手(幼児語)*
- ▶ててんご：てちんご：てなぐさみ、ばくち、ギャンブル
- ▶～てな・～てや：(接尾語)～の(～ですか)、「いくてな」行くのですか*
- ▶～てな：(接尾語)～なので、「いわんでな」言わないで*
- ▶でのある、でんある=(値段の割には結構量が多く)値打が有る、お値打品、仏語：Bon Marche、英語：Reasonable、用例：このお菓子はでんあるなあ
- ▶てのごい、てんげ：手ぬぐ
- ▶てのはやー：仕事が早い・すぐに手を挙げる*
- ▶てばあぐる←手を上げる：(あまり好ましくないことが)上達する、例：飲酒
- ▶～てばし：～でない・～でも、「そぎゃんでばしあるごつ」そんなにないのにな* @
- ▶～てや：(接尾語)～の・～だって、「そぎゃんてや」そんななの*
- ▶てれくしゃ：照れくさい*
- ▶てれっと・でれっと：副詞：ぼ～っと、放心状態で、用例：てれっとすんな=ぼ～っとするな
- ▶でらんな・～か・～や：出かけようか*
- ▶～てろ、～てろん：～とか、～ということだとか
- ▶～てん：(強い意志・推測の助動詞)～ても、「～してんよか」～してもいい*
- ▶～でん：(接尾語)～でも・～でさえ、「いつでんよか」いつでもよい*
- ▶てんげ、てのごい：手ぬぐい
- ▶てんでわからん：全くわからない*
- ▶てんぷら：つきあげ、さつまあげ、参考：九州には元来いわゆるてんぷらはない

【と】

- ▶▶～と：（所有・疑問・断定・伝聞の意を表す助詞）～の・～のか・～よ・～のよ、「これだれんと」これ誰の、「こら俺んと」これは俺の、「何しよっと」何しているのか*
- ▶ど～：どら～、用例：ど、みせちみい=どら、見せてごらん
- ▶～ど：（推量・念を押す意を表す助詞）～だろう・～だろうね・～でしょう、「行くど」行くだろう、「ねっど」寝るだろう*
- ▶といー・とえー・とうか：遠（とお）い*
- ▶といめん：向かい側・真正面*
- ▶とうぎ、とぎ：連れの者、仲間
- ▶とうきび：とうもろこし、参考：島根地方：なんばんぎん
- ▶とうぐわ：たけのご掘りなどに使用する鍬、推定由来：唐、東鍬
- ▶～どうか・～どか：～だろうか、「しよっどか」しているだろうか*
- ▶とーし・とうし：常に、「とーししごつしょんなる」いつも仕事をしておられる*
- ▶どうし：どうせ・すごい・ひどい、「こらどうし」これはすごい*
- ▶どうしゅうか・～かい：どうしようか*
- ▶どうせにや：せっかくだから*
- ▶どうでん：どうしても・どうでも、「どうでんいきちゃ」どうしても行きたい・「どうでんよか」どうでもいい*
- ▶どうな・どうや：どうだろうか*
- ▶どうなっとなろたい、どぎゃんなっとなろたい：どうにかなるでしょう
- ▶とうに：ずっと前に*
- ▶とうまいぶくろ：麻袋（あさぶくろ）*
- ▶どうもなか・～にや：何ともない*
- ▶とふのかす、とうふのかす←豆腐の粕：卵の花、おから
- ▶とかぎり：とかげ
- ▶どぎつか：しつこい*
- ▶ときの・とくにや：時々は、「とくにやきなっせ」時々は来てください*
- ▶とぎのんにや・とぜんにや：孤独でさみしい・さみしい*
- ▶どぎやしこ：どれだけ
- ▶どぎや（が）ん：どの様に
- ▶どぎや（が）んかい：どうですか*
- ▶どぎや（が）んかこぎゃんか：どうにかこうにか
- ▶どぎや（が）んかすつと：どうにかするの*
- ▶どぎや（が）んこぎや（が）んいうたっちゃ：どうこう言おうが（変わりはしない）
- ▶どぎや（が）んこつ：どうということ*
- ▶どぎや（が）んすつな、どぎや（が）んすつとな：どうするのですか（質問、詰問）
- ▶どぎや（が）んしこ：どれだけ*
- ▶どぎや（が）んだろか・～だろい：どうだろうか*
- ▶どぎや（が）んでんええばってん：どちらでもいいですから（ご随意にどうぞ）
- ▶どぎや（が）んと：どんなの*
- ▶どぎや（が）んどんしとるか・～な・～ね・～や：どんなにしてるかな*
- ▶どぎや（が）んどんなっつとどか：どんなになっているのかな*
- ▶どぎや（が）んしとらすか・～な・～ね・～や：どうしてるかな*

- ▶どぎや (が) んなつとどか：どうなっているのかな*
- ▶どぎや (が) んな・どぎや (が) な：どうですか*
- ▶どぎや (が) んなか・～にや：どこも悪くない*
- ▶どぎや (が) んもこぎや (が) んも：どうにもこうにも
- ▶どぎや (が) んもせんちゃよか・～ええ：何もしなくていい*
- ▶～どく・～どこ：～せずにおく、「えさはやらんどく」餌はやらなくていい、「仕事はやらんどく」仕事はしないでいい*
- ▶とくな：得する、「とくなしょうぶん」得する性分*
- ▶どくなやっちゃなか：どんでもなく悪いやつ*
- ▶どぐら：怠け者、「どぐらむすこ」道楽息子*
- ▶どぐらげ：(料理) だろあげ、参考：かぼちゃ+にがうり+小麦粉またはかたくり粉
- ▶どけだきやあ、どけだっか←毒気高い：こってりし過ぎてしつこい (食べ物など)
- ▶～とけ：(命令の意を表す助動詞) ～しておくように、「まっとけ」待ってろ*
- ▶どけ・～か・～な・～や：何処(どこ)に*
- ▶どけ・どけえ：何処に、あけろ(どけ)*
- ▶どけいくと：何処に行くの*
- ▶どげしたな：どうしました*
- ▶どけどん・どこさん：どこへ*
- ▶どけな・～か・～や：どこへ*
- ▶～どこ：～せずにおく、「いわんどこ」いわないでおこう*
- ▶～とこい：～しておこう*
- ▶とごえる・とごゆる：ふざける
- ▶どこさん：どこへ*
- ▶とこっで：ところで*
- ▶とごやかす：からかう・ふざける、「とごやかやあて」からかって*
- ▶どこまじでん：どこまでも*
- ▶ところどころ：ところどころ*
- ▶どこんどこん：どこもかしこも*
- ▶とこんまえ：仏壇の前に*
- ▶どしこ：どれだけ*
- ▶どしこでん、どれしこでん、どでしこでん：どれだけでも、しこ：量、程度
- ▶どしこばし：(さほど多くもない時に) どれくらい*
- ▶どしてんこしてん：どうしても～やりとげたがる
- ▶としとりぞくにや：年甲斐もなく*
- ▶としのしこ：①年齢の数だけ、②年齢相応に経験豊かで適切な判断力を有すること
- ▶としのばん：大晦日の晩*
- ▶どじま：地面
- ▶～としゃが：(助動詞) ～しないと、「いかんとしゃが」行かないと*
- ▶どじる：やりそこなう*
- ▶とせ、とせい←渡世：名詞：生活
- ▶とせする：動詞：生活する、大阪じとせしよらす：大阪で生活しておられる。
- ▶とぜんにやあ・とぜんなか：孤独でさみしい、たいくつだ、つまらない
- 確認由来：徒然なり、出例：太平記、「～に皆耐えかねて」
- ▶とっ：(動詞の前につく強意の接頭語)
- ▶どっか：どこか*
- ▶とつけむにやあ←とつつくしまもない：とんでもない

- ▶～とった：～していた、「しとった」していた、「いっとった」行っていた・言っていた*
- ▶どっちなつと：どちらになるの・どちらか*
- ▶とっちめる・とっちむる：こらしめる*
- ▶どっちゃん：どちらへ*
- ▶とっちらかす・ひっちらかす：ちらかす*
- ▶とっちるる、とっちれる：取り乱す
- ▶どっちんつかん：どちらにもつかない*
- ▶とっつきにくか・～にきい：無愛想な・気難しい*
- ▶どっでん：どれでも
- ▶どっでんこっでん：どれもこれも*
- ▶～とつと：～している、「いっつとつ」行っているの、「きとつと」来ているの*
- ▶とつといて：とつておいて*
- ▶とつとく：とつておく*
- ▶とつとつと、とつとると：取って置いている（もの）、取っているの、取っているよ*
- ▶とつばさき：最先端*
- ▶とつペン：てつペン←天辺、頂上
- ▶どでしこでん、どれしこでん、どしこでん：いくらでも
- ▶とてん：とても*
- ▶どでんこでん：どうにもこうにも、頑固でどうし様もない
- ▶～とにや：（比較する時）～とは、「ぬしとはあわん」お前とは気が合わん*
- ▶とばしゆる：しぶき・飛び散った汁*
- ▶どべ・どんけつ：一番ビリ・どんびり・びりっけつ*
- ▶とぼくる：とぼける*
- ▶とぼくんな：とぼけるな*
- ▶～どま：（助詞・接尾語）～ほど・～くらい・～ころ・～時分・～達、「おどま」私達*
- ▶どまぐるる、どまぐれる：道を外れる、推定由来：道をはぐれる
- ▶どまぐれ：道を外れた者、極道者
- ▶～どみや：～達は、あんたどみや（あなた達は）
- ▶～どま（みや）する：かもしれない、「しんどみやする」死ぬかもしれない*
- ▶とも：？、例：つつみのとも：推定：つつみの堤防の上又は周辺か、推定由来：袂
- ▶～とや：（疑問の助詞）～か、「行くとや」行くのか*
- ▶どやす：殴る・打つ・怒り散らす*
- ▶どやつ：どいつ*
- ▶～とよ：（念押し of 意を表す助詞）～なさい・～のよ、「こんとよ」来ないのよ*
- ▶～とらす：（敬語）～おられる、「いっとらす」行っておられる*
- ▶～とる：（進行形・完了系を表す助動詞）～している、「こおつとる」凍っている*
- ▶どる：どれ、「どるがよかね」どれが良いの*
- ▶どるしこ：どれだけ*
- ▶どるとどる：どれとどれ*
- ▶どるはず：どれほど*
- ▶どるもこるも：どれもこれも*
- ▶とるる：とれる*
- ▶とれえ：とろい*
- ▶どれん：どれも・いずれも・どちらも、「どれんでんよか」どれでも良い*
- ▶どれんかれん：どれもこれも*
- ▶とろか：のろい*

- ▶どろくしゃ：田舎くさい*
- ▶どん：どの、「どんつらさげて」どの顔して*
- ▶どんくわっちょ、どんくわち：どんこ：川魚：かじか
- ▶どんこん←どうにもこうにも：どうにもこうにも、「どんこんすかん」とても嫌い*
- ▶どんこんてちやなカー・にや：何とも言えない*
- ▶どんこんならん：どうにもこうにもならない*
- ▶どんでえんなる：どうにでもなる*
- ▶どんじ：〇〇〇？、地面などを打ち固める才をいうが的確な共通語を見出せない。
- ▶とんと：さっぱり・ちっとも・全く・ほんの、「とんとまえ」ほんの前*
- ▶とんとわからん：ちっとも分からない*
- ▶どんどやき：お正月のお飾りを燃やす行事（共通語）
- ▶どんばら：大きなお腹
- ▶どんべんごうり：つらら、推定由来：戸の縁（へり）（に垂れ下がる）のこうり
- ▶どんもこんも：どれもこれも*

【な】

- ▶～な：～ね、「おかしかな」おかしいね、「さむかな」寒いね、「いくとな」行くね*
- ▶なーんか・なーがが・なぎゃー：長い*
- ▶なあんか・～な・～ね・～や：何か・何ね*
- ▶なあんてなあ：相槌：なんとまあ、そうですか、「なんてな？」は「何ですか？」の意で単なる質問、推定由来：古語「なんとな」と「なんとまあ」の混同・合成語か、場面によって、驚嘆・感心・納得・同感・同意・同情などの情意が込められた相槌の表現
- ▶～にゃん：～しなれば、こにゃんたい、せにゃんたい
- ▶～にゃんたい：～せねばいけませんよ、～するべきですよ、義務の確認
- ▶なおす：①元に戻す、片付ける：西日本②修理する
- ▶なか・にや：無い、「なかごたる」ないようだ、「なかたい」無いです、「なかつ」無い*
- ▶なかと：無いの・無いよ*
- ▶ながーかつ：長いのが*
- ▶ながかー：長いね*
- ▶なかす：泣かせる、「なかすんな」泣かせるな*
- ▶なかだっつさん：仲人*
- ▶なかばい：無いね*
- ▶～ながる：～ながら・～ごと、「なきながるねてしもた」泣きながら寝てしまった*
- ▶なげー：長い*
- ▶なきおめく：泣き叫ぶ*
- ▶なしや、なしな、なし：なぜですか
- ▶～なすな←なさってはならぬ：～してはいけなせんよ、～するのですか
- ▶なすび：茄子のことであるが、決して「ナス」とは言わない
- ▶なずる・なぜる：なでる*
- ▶なぞかくる：遠まわしに言う、それとなくにおわす
- ▶なたね：菜種、菜の花、菜種の実を表す。「菜の花」とは言わず「菜種ん花」という。
- ▶～なっせ：～して、「いうてみなっせ」言ってみて*
- ▶なっだけ・なったけ：なるだけ*
- ▶なったごつ・なるごつ：なっただまま*

- ▶なつとらす・なつとる：なっている*
- ▶なづけ←菜漬け：菜っ葉の漬物
- ▶～なっせ←なさい：～しなさい、～してください：丁寧依頼・弱命令、例：食べなっせ
- ▶なつまめ：そら豆
- ▶ななばけ＝みやまくわがた、地域差：ななばけ：山西、じじこつ：河原
- ▶なば：茸、きのこ、語源：なばえ：木の切り株から生えた芽、ひこばえ：広辞苑
- ▶なばとり：キノコ獲り
- ▶～なはらん：～されない、「おんなはらん」おられない*
- ▶～なはり：～なさい、「くいなはり」食べなさい*
- ▶～なはる：～れる：「くいなはる」食べられる*
- ▶～なはん：～しないで、「くいなはん」食べないでください*
- ▶なぼんごつする←なぼのようにする：他動詞：たたきのめす、例：なぼんごつすっぞ
- ▶なゆる←なえる：疲れる、(精神的に)落ち込む、例：きゃあなえとらす
- ▶なめとる：なめてる*
- ▶なろごたる：なりたい*
- ▶なろた：習った*
- ▶なわす・なおす：しまいこむ*
- ▶なわる：移動する*
- ▶なんかかる、ねんかかる：寄りかかる
- ▶なんかな：なにかな*
- ▶なんが・なーんが：なにが、「なんがよかか・なんがええか・なんがえーか」何がいいか*
- ▶なんぎなし←何の気なし：何気なく、無意識のうちに
- ▶なんぎやる←なげやる：放り投げる、放り捨てる
- ▶なんごつ：なにごと*
- ▶なんごむ：投げ込む*
- ▶なんさん、なんさま：なにしろ
- ▶なんせ：なにせ*
- ▶なんてってん：何とでも、例：なんてってんいいなっせ
- ▶なんてちな：なんだって*
- ▶なんて(で)ちゃ：なんと言っても・なんでも、「なんてちゃんか」なんでもない*
- ▶なんて(つ)でん・なんでん：なんでも*
- ▶なんてんかんでん：何でもかんでも
- ▶なんとんつくれん←何とも作れない：(形容しようがない位)ばかばかしいほど奇妙な
- ▶なんなつと←何なりと：①何でも意のままに、②何か適当に、あり合わせのもので
- ▶なんの：いいえ・いいや*
- ▶なんのきなし←何の気なし：「なんぎなし」に同じ
- ▶なんのこつか：何のことか、「なんのこつはなや」なんのことはない*
- ▶なんば：何を 例：なんばしよつと：何をしているの*
- ▶なんもかんも：何もかも*
- ▶なんもなか：何もなし*

【に】

- ▶にいじん：にんじん
- ▶にがごり：にがうり、ごり＝うり
- ▶にぎゃあ・にがが：にがい*

- ▶にくじ：わざと
- ▶にくたらしか：憎い*
- ▶にぐる：逃げる*
- ▶にせもん：にせもの*
- ▶にとる：似ている*
- ▶にのうち←にのうて：担って、荷負って
- ▶にやわん：似合わない*
- ▶～にゃん：～ねばならない、「せにゃんばい」しないといけない*
- ▶にゆる：にえる*

[ぬ]

- ▶ぬいもん：縫い物*
- ▶ぬかしやがって：言いやがって*
- ▶ぬかる：ぬかるみに足がめり込む*
- ▶ぬくか・ぬっか・ぬきー：暖かい*
- ▶ぬくむる・ぬくめる：温める*
- ▶ぬくもった：暖かくなった*
- ▶ぬけとる：間抜け*
- ▶ぬけん：抜けない*
- ▶ぬさん、のさん：わずらわしい、不愉快だ、推定由来：のさない、「のす」の否定語
- ▶ぬし・ぬしゃ：貴方（「お主」が語源？）
- ▶ぬしがつ、お前のもの*
- ▶ぬし：おまえ*
- ▶ぬすど：盗人（ぬすつと）。泥棒、参考：本来名詞であるが動詞としても使用する。ぬすどする。
- ▶ぬべる：水を足して熱い湯を冷ます、古代語：例出：仮名草子
- ▶ぬりい、ぬるか：ぬるい
- ▶ぬわす：縫う*

[ね]

- ▶～ねき、～にき：～のそば、～のあたり、～のかたわら、例：そこんねき＝そのそば語源：根際、特に関西地方で使用する、類語：根際（ねぎわ）：草木の根元
- ▶ねごつ←ねごと：①寝言、②非現実的なこと
- ▶ねごぼく、ねこく：を天日で乾燥させるための強く編んだ延、推定由来：寝穀
- ▶ねちい・～かー：しつこい*
- ▶ねったくる・ねたくる・ぬたくる：ぬりつける*
- ▶ねどこる、ねどこり←寝所、寝所：寝室、寝所、寝床
- ▶ねとらす：寝ておられる*
- ▶ねとれん：寝てられない*
- ▶ねとんなっせ：寝ていてください*
- ▶ねばなっとう：納豆*
- ▶ねぶち：竹の根の物指（学校の先生が黒板で物を指す棒のこと）*

- ▶ねぶと：はれもの、黄色ブドウ球菌の感染による毛包の炎症、固根
- ▶ねぶる：舐（な）める
- ▶ねまる：腐る、推定由来：腐る→粘る→ねまる
- ▶ねみー・ねみい・ねむか：眠い*
- ▶ねむしゃする：ねむたがる*
- ▶ねむりかぶる：ねぼける
- ▶ねられん：寝れない*
- ▶ねらん：寝ない*
- ▶ねらんか：寝なさい*
- ▶ねれん：寝れない*
- ▶ねろか・ねろうか：寝ようか*

【の】

- ▶～の：～が、「あめのふる」雨が降る*
- ▶のいて：どいて*
- ▶のいね←野稲：陸稲、おかぼ（陸穂）、参考：畑いねということもある？
- ▶のうできとらす：飲んできている*
- ▶のうでくる：飲んでくる*
- ▶のうなす：なくす*
- ▶のうなりかす：他動詞：失くす、参考：失くすに対する的確なことばは思いつかない
- ▶のうならんごつ：無くならないように*
- ▶のうなる・のーなる：自動詞：無くなる・失くなる、亡くなる
- ▶のごう：拭う、てのごい、てんげ・てのごい=手ぬぐい、あしのごい：足ふきぞうきん
- ▶のさらん：恩恵にあずかれない・もらえない*
- ▶のさる：思いがけず授かる、神様から授かる、食べ物などにありつける、由来：のし
- ▶のさん・ぬさん・～なあ：たまらない・困り果てる*
- ▶～のつ：～のもの、「あんたのつ」あなたのもの*
- ▶の（ぬ）すこっじゃなカー・～にや：たまったもんじゃない*
- ▶のでつまる：喉に詰まる*
- ▶のでんいたか：喉が痛い*
- ▶のどんかわく：喉が渇く*
- ▶のべおくり：野辺送り：死者のを墓地に運ぶ時の送り出し
- ▶のぼすんな：思い上がるな*
- ▶のみかた（飲み方）：宴会、酒席、鹿児島地方：のんかた
- ▶のみきらん：飲めない*

【は】

- ▶～ば：～を、確信由来：～をば、用例：勉強ばせんか・なんばすつか
- ▶～ばい、～ばいた：～ですよ、参考：場合によってはやや投げやりなニュアンス
- ▶～はい：～しましょうよ：勧誘語尾、例：行くばい、勉強するばい、起きるばい
- ▶はいちょう：台所用品の一種、蠅などから食べ物を遮断するための網張りの収納庫

- ▶はいのう←背表：リュックサック、ランドセル、背負カバン
- ▶～はいよ、はつよ：～ください、勧誘語、推定由来：拝よ→くださいよ：接尾語と直接動詞
- ▶はいらんかい・～ね・～か・～や・～かい：入りなさい*
- ▶はえ：はや：川魚
- ▶はか：ものごとの進み具合、漢字：抄、確認由来：古代語、万葉集 2133
- ▶はかいく、はかんいく：能率が上がる、ことが順調に運ぶ、※はかばかしいとの関係
- ▶ばかたれ：馬鹿*
- ▶ばかちゅうちゅうはなか：馬鹿つたらない*
- ▶はかど?←基土：墓地?、疑問：布田の墓地「あかどう」と混同しているかも?
- ▶ばかばい：馬鹿ですね*
- ▶はかぶら：墓地、由来：不明、墓群れ→はかむれ→はかむら→はかぶら?、群れ→村
- ▶はかもん：地名：袴野、まの→もん
- ▶ばからしか：馬鹿馬鹿しい*
- ▶はきもん：履物：履きもの
- ▶ばくりよ、ばくりょう：博労：馬食う：ブローカーに由来
- ▶はぐるる：はぐれる*
- ▶はげっぱ：つるっ禿げ*
- ▶はたけ★共通：畑=火+田→焼畑農業→火(ひ→ほ→は)+焚(焚く)、火焚く農地
- ▶はたけいね?←畑稲：陸稲、陸穂、「のいね」が一般的な西原語か?
- ▶はちや：畑(地名)、「はちやいくばい」畑に行くよ*
- ▶はちわる：割る*
- ▶ばちかぶる：ばちが当たる*
- ▶～はじゃ：～の間に、漢字：狭間、迫間、古典例：宇治道、そのはざまは唇ばかり
- ▶はち～：接頭語：とにかく～する、例：はち来る、はち食う
- ▶ばちかぶる←罰を被る：バチが当たる
- ▶ばちくりかえす：ひっくり返す
- ▶はちくる：来てしまう、とにかく来る、注意：這って来るではない、類語：はってく
- ▶はちけ：とにかく来なさい、何はともあれ来なさい、注意：這って来いではない
- ▶～ばっかし：～ばっかり*
- ▶はっかくる：唾などを吐きかける*
- ▶ばったり：捕鳥器・農具、全く*
- ▶ばっちょがさ：(雨の日の農作業時に被る)三度傘、強風で傘がひっくり返ったもの*
- ▶はってく：行ってしまう、注意：這って行くではない
- ▶はってけ：行つてしまえ、注意：這つて行けではない
- ▶ばってん：しかし、由来：永遠の謎、「そり(る)ばってん」そうでしょうか*
- ▶はつもん：初物*
- ▶はつよ、はいよ：ください、勧誘語
- ▶はでか：派手だ*
- ▶はなのす：鼻の穴
- ▶はなしかくる：話しかける*
- ▶はなたれ：いくじなし・初心者*
- ▶ばば：糞(くそ)*
- ▶ばばっちい：汚い*
- ▶はぶりのよか：金づかいがいい*
- ▶はまっとらす：一生懸命になっている*
- ▶はみがっこ：歯磨き

- ▶はみ：家畜の餌
 - ▶はむ：家畜がえさを食べる
 - ▶はやか・はえー：走るのが早い*
 - ▶はやかこつ：早いこと*
 - ▶はやかのなんの：とても早い*
 - ▶はよ：早く、はよせんか（はやくしなさい）、はよいの（はやく帰ろう）*
 - ▶はようじ：歯ブラシ
 - ▶はよしもたな←早くお仕舞いなされましたな：夕方の挨拶：早い仕事のお仕舞いですな
 - ▶はよはよ：早く早く*
 - ▶ばら：餅などを乾す竹製の平たいざる
 - ▶はらいつぴや：腹いっぱい*
 - ▶はらんたつ：腹がたつ*
 - ▶はりかく、はるか←はらかく：腹をたてる、怒る、はりきやあとらす、推定由来：歯軋り→歯欠
 - ▶はる、ばる：九州では地名の「～原」を「はる」または「ばる」、東南アジア：～バル
- 由來說：古代ポリネシア語との説もある
- ▶ばるる：ばれる*
 - ▶はわく：掃（は）く*
 - ▶ばん：メンコ
 - ▶～ばん：～ねばならない、「いかんばん」行かなくてはならない*
 - ▶ばんど：ベルト
 - ▶～はんな：～してはいけない、「いかはんな」行かないで*

[ひ]

- ▶ひあたんのよか：日当たりのいい*
- ▶ひおこし、ひよこし：火吹竹
- ▶ひがらめ：やぶにらみ*
- ▶ひきやぶる・ひっきやぶる：引き破る*
- ▶ひげむし：毛虫
- ▶ひごのいっちょのこし：客に出された菓子・果物の最後の一つを残す肥後の風習（馬鹿風習）*
- ▶ひざぼうず＝膝小僧
- ▶ひしゃぐ・ひっしゃぐ：押しつぶす*
- ▶ひだりい、ひだるか←ひだるい：空腹である、飢えてひもじい、西日本地方の表現
- ▶ひっかぐ、ひんかぐ：へし折る、ひっ：は接頭語
- ▶ひっかくる：（水などを浴びせかける、「ひっ」は強意の接頭語
- ▶ひっきやぶる←ひき破る：破る、「ひっ」は強意の接頭語
- ▶ひっきやぶれた←ひき破れた：破れてしまった、「ひっ」は強意の接頭語
- ▶ぴしゃーつと：きちんと*
- ▶ぴしゃり：ぴったり・立派に*
- ▶ぴしゃーつと・ぴたーつと：ぴったりと*
- ▶ひだるか・ひだりい：ひもじい・お腹すいた*
- ▶ひちめんどくしゃ：面倒くさい*
- ▶ひちゃかちゃ・ひちゃくわちゃ：めちゃくちゃ*
- ▶ひっか：卑い*
- ▶ひっかくる：ひっかける*
- ▶ひっきやぶる：引き破る*

- ▶ひったまがる：ひどくびっくりする＊
- ▶ひっちゃかまし：やかましい・うるさい＊
- ▶ひっどき←昼時：昼食時頃
- ▶ひっとづる、～ずる：無意識のうちに出る、解説拒絶
- ▶ひっぱずす：外す＊
- ▶ひっぴやがす：①ひっぱく、②引きはがす、「ひっぱがす」と「ひっぺがす」の合成化
- ▶ひでえ・ひどか：ひどい、「ひでえこつ・ひどかこつ」ひどいこと＊
- ▶ひときり←ひと区切り：一息
- ▶びびんかた：かたぐるま、推定由来：馬（ひんひん）の肩
- ▶ひぼ：細
- ▶ひまいる：時間がかかる＊
- ▶ひまぐらし←閑暮し：仕事がなくぶらぶらした生活
- ▶ひまんいる←暇ん要る：時間がかかる、遅い、由来：暇（＝時間）を要する
- ▶ひもじか：かなりお腹がすいた＊
- ▶ひもとき、ひぼとき←紐解き：七五三の宮参り
- ▶ひゃあ：蠅、灰
- ▶ひゃある：入る＊
- ▶ひゃあがる：干上がる＊
- ▶ひゃあどこ：地名：灰床
- ▶ひゃある←はいる：入る、例：はよ風呂にひゃあらんか
- ▶ひゃきだご：火焼だんご：遠隔地の田畑に持参し農作業の間食にする焼きだんご
- ▶ひゃととる：入ってる＊
- ▶ひゃどふ←ひゃどうふ：冷ややっこ、類語：やきどふ、あげどふ、※厚揚げは？
- ▶ひゆる：冷える＊
- ▶ひょうがる、ひょんがる、ひんがる：曲がる
- ▶ひょうぐる、ひょうげる：おどける、ふざける、※ひよつとことの関係
- ▶ひょうげもん・ひよげもん：おどけ者＊
- ▶ひょうろくだま：？、推定：「鉄砲の玉」と同義で「行っただきり帰ってこない人」か？
- ▶ひよがむ：ひがむ＊
- ▶ひよくつと：ひよっこり、とつぜん
- ▶ひよとり←ひよとい：日雇い、類語：ぶやああ：歩合、にっと：日当
- ▶ひらくち：まむし
- ▶ひらけた＝しまった、由来：全く不明
- ▶ひらわした：拾われた＊
- ▶ひりゃあもん：拾ったもの＊
- ▶ひる：放出する、用例：へひる、はなひる
- ▶ひろか・ひれえ：広い＊
- ▶ひわ：びわ＊
- ▶ひん～：（動詞につく強意の接頭語）＊
- ▶ひんしゃぐる、ひんしゃぐ←ひっしゃげる、ひっしゃぐ：他動詞：押しつぶす
- ▶ひんしゃげる←ひっしゃげる：自動詞：押しつぶされている
- ▶びんた＝共通語：ほお、頬
- ▶ひんにぎる：強くにぎる＊
- ▶ひんぬく：引き抜く＊
- ▶ひんぬぐ：（着物などを）ぬぐ＊
- ▶ひんのむ：飲む＊

- ▶ひんむく：むいてしまう＊
- ▶ひんのよか：上品な＊
- ▶ひんのなか・～わるか：下品な＊
- ▶ひんまがる：自動詞：思いっきり曲がっている
- ▶ひんまぐる：他動詞：思いっきり曲げる

[ふ]

- ▶ふ：運、「ふのええ」運が良い、「ふのわるか」運が悪い＊
- ▶ぶ：有利の意＊
- ▶～ふう：～ようだ・様子、「いくごたるふう」行くようだ＊
- ▶～ふうたい：～ようだ・～ようです＊
- ▶～ふうだけん：～ようだから、「こぎゃんふうだけん」このようだから＊
- ▶ふうたれ：馬鹿・あほ＊
- ▶ぶえん：鮮魚（干物、塩物に対する）、推定由来：無塩か
- ▶ぶかぶかしとる：服などのサイズが大きい、床などが浮いている＊
- ▶ふきやあ・ふかか：深い＊
- ▶ふぎやにやあ・ふぎやあなか：だらしない・ふがない＊
- ▶ふくらまし：紙風船
- ▶ふくる・ふける：老ける、「ふけとる」老けている＊
- ▶ぶしょう・～な：めんどうがる・精を出さないこと＊
- ▶ふじゅうか：便利が悪い、不自由な＊
- ▶ぶしょうずら：不承面・不機嫌な顔つきや不愛想な顔つき＊
- ▶ふせ・ふせする：つぎあてをする＊
- ▶ふせぎれ：着物の破れた部分に当てる布＊
- ▶ぶち～・ぶっ～：打つの意＊
- ▶ぶちあてる：打ち当てる＊
- ▶ぶちかける：打ちかける＊
- ▶ぶちかます：殴る＊
- ▶ぶちぎれる：頭にくる＊
- ▶ぶちぬく：穴をあける＊
- ▶ふちゃ：布田（地名）、「ふちやいくばい」布田に行こう＊
- ▶ふちやり←ふたり：二人、類語：よったり：四人
- ▶ふつ：よもぎ
- ▶ぶっかかる：（水などが）打ちかかる＊
- ▶ぶっかける：（水などを）打ちかける＊
- ▶ぶっこぼす：（水などを）こぼす＊
- ▶ぶっこむ・ぶちこむ：投げ込む＊
- ▶ぶっぱなす：（鉄砲などを）突然うつ＊
- ▶ふっきる：わだかまりやためらいの気持ちを捨て去る＊
- ▶ふっけす：吹き消す＊
- ▶ふてえ、ふとか：太い、背が高い、反対語：こまか：背が低い
- ▶ふてえーこつ：大きなこと・大ボラ、「ふてえーこついうな」大ボラ吹くな＊
- ▶ふてえーつらして：大きな顔して※
- ▶ふてえーつらすんな：大きな顔するな＊
- ▶ふてえーみやおうた：大変なめにあった＊

- ▶ふとか：背が高い・大きい・太っている*
- ▶ふとかこつばいう←大きなことを言う：大ボラを吹く
- ▶ふとめる・～むる：大きくする*
- ▶ふとらかす：大きくする*
- ▶ふとりそこのうとる：太りそこなっている*
- ▶ふのええ・ふのよか・ふのよかつ：運が良い*
- ▶ぶのええ・ぶのよか・ぶのよかつ：有利だ・得をする*
- ▶ふのわりい・ふのわるか・ふのなか：運が悪い*
- ▶ぶのわりい・ぶのわるか・ぶのなか：不利だ・損をする*
- ▶ぶぶ：水*
- ▶ふゆる：増える
- ▶ふりい・ふるか：古い*
- ▶ぶりまく：まき散らす*
- ▶ぶりまわす：振り回す*
- ▶ぶりやる：投げやる*
- ▶ふる：（おならを）振る*
- ▶ふるゆる：震える
- ▶ふんええ、ふのええ、ふのよか←うんのよか：運がよい、推定：運→ふん→ふ
- ▶ふんしゃぐ：踏みつぶす*

[へ]

- ▶へえへる、へえふる：他動詞：（意識的に）屁をひる
- ▶へぐれんこつ：妙なこと*
- ▶へこ：ふんどし*
- ▶へこたれる：めげる*
- ▶へしおる：折る*
- ▶へずる：減らす*
- ▶へたごろ：へたくそ・非常にへたなこと
- ▶へつる：削り取る*
- ▶へのずっ、へんずっ：自動詞：屁の無意識的放出、〔ずっ＝自然無意識的〕<〔ひっずっ：超無意識的〕<〔きゃあひつとずっ：抑制の効果むなしくついでに出してしまった〕、対語：積極的放出：へえへる、へえふる
- ▶べんべん：着物*

[ほ]

- ▶ほいっぴゃ：たくさん*
- ▶ほう、ほうほう：ほら、ほらほら、「ほう、あつたい」：ほら、あれだよ*
- ▶ほうける：うつつを抜かしている*（標準語）
- ▶ぼうぶら、ぼぶら：かぼちゃ
- ▶ぼうもりさん、ぼんもりさん：坊守様：お寺の住職の奥様、類語：おじゅっさん＝住職
- ▶ほうりやる：投げやる*
- ▶ほか←外：家の外、庭

- ▶ほぎやくもにや：とんでもない・途方もない*
- ▶ほがす：穴を掘る、推定由来：つ（うがつ）
- ▶ほけ：冬の吐く白い息、湯気、推定由来：吐く気→はくけ→ほけ
- ▶ほしごるまめ、ほしごりまめ←乾しこるまめ：（保存食）乾し納豆、対語：ねばなっとう
- ▶ほたる・ほたくる・ほたつとく：放り出す・ほったらかす*
- ▶ほたりこくる：つまづき転倒する
- ▶ほっ：〔強意の接頭語〕、「ほっぼらかす・ほっちらかす」放り出す*
- ▶ほっしやする：欲しがる*
- ▶ほったくる：掘り返す*
- ▶ほつつきまわる：うろつきまわる*
- ▶ぼーっとして：ぼんやりして*
- ▶ほつぼつ：ぼちぼち、そろそろ
- ▶ぼつぼつ：ぼつりぼつり
- ▶ほつれる・ほつるる：縫い目がほどける*
- ▶ほときさん：仏さま
- ▶ほどのう：程なく*
- ▶ほどようさす：愛想よく世話する*
- ▶ほど（ん）よか・ほどんよう：程よい・丁度いい*
- ▶ほむる：ほめる*
- ▶ほめく：蒸し暑い
- ▶ほめたおす：ほめちぎる
- ▶ほや：電球*
- ▶ほれこうだ：惚れてしまう*
- ▶ぼろくそいいなはった：ぼろくそ言われた*
- ▶ほろせ：じんましん*
- ▶ほんくど、ぼうのくど：身体の一部？
- ▶ぼんくら：頭の悪い人*
- ▶ほんさん：お坊様、類語：おじゅっさん、ほんもりさん
- ▶ほんなこつ：本当に、「ほんなこつばいた」本当のことですよ*
- ▶ほんなこて、ほんなこつ←本なこと：本当に、正直なところ、ほんなこつ：本当のこと
- ▶ほんなもん：本物*
- ▶ほんならね：それならね*
- ▶ほんによか：本当に良い*
- ▶ほんの、もんのう：←煩惱、愛着
- ▶ぼんのんつく：愛着がわく
- ▶ほんばな：①お盆の時期に咲くはな②棚に供える花③キキョウの異名

【ま】

- ▶ま・まあ：もう*
- ▶まあだ：まだ、「まあだばいた」まだですよ*
- ▶まあだでん・まあでん：まだまだ*
- ▶まいっちょ：もうひとつ、もう一度*
- ▶まいっちょんと：別の*
- ▶まいっとき：もうしばらく*

- ▶まいっばい：もう一杯*
- ▶まいっぺん：もう一度*
- ▶まがりめ←曲がり目：道路のカーブ
- ▶まがんだごじゆる：麺棒を使わず手で引き伸ばした麺で作っただんご汁
- ▶まくりあげる：巻き上げる*
- ▶まくる：負ける、「まくんな」負けるな*
- ▶まこて：誠に・本当に*
- ▶まし：より良い、「こるがましばい」これがより良いよ*
- ▶～まじ：～まで、「あすこまじいこお」あそこまで行こう*
- ▶～ますな：～しないでください*
- ▶まざる・まぜくる：混ぜる*
- ▶まぜめし、まぜごはん：ちらしずし
- ▶ませとる：ませている・早熟な*
- ▶またな：また今度・またね*
- ▶またんたび：今度・次の機会に*
- ▶まちがゆる：間違える・（一般的な意味のほか）気が狂う
- ▶まちごうた：間違えた、「まちごうち」間違えて*
- ▶まちっと・まちーっと・まちよっと：もう少し、もうちょっと、いまし
- ▶まちなっせ・まちなはり：待つて*
- ▶まっ：真（完全の意の接頭語）、「まっくらすみ」真の闇、「まっさら」新品*
- ▶まっくりゃあ←まっくらか：真っ暗い
- ▶まっくれえ←まっくろか：真っ黒い
- ▶まっだし：まるだし*
- ▶まっで：まるで*
- ▶まっとう・～な：まともな*
- ▶まってはいよ：待つてください*
- ▶まっとつて：待つてて、「まっとらす」待つている、「まっとれ」まっている、「まっとなっせ」待つててください*
- ▶～まっしゅ：しましよう、「いきまっしゅ」行きましよう、「しまっしゅ」しましよう*
- ▶～まっせ：～下さい、「たべなはりまっせ」食べて下さい*
- ▶～まっせん：～ません、例：しまっせん、言いまっせん
- ▶まっぼし：ずばり、あたり、見破ること、推定由来：まさしく→まさし→まほし→
- ▶まっぼり：名詞：へそくり、くすねたもの
- ▶まっぼり雨：ひと雨降ってほしい時にほんのわずかししか降らない雨
- ▶まっぼる：動詞：まっぼりの動詞形
- ▶まんまいさん：仏壇・仏様*

[み]

- ▶～みい・～みなっせ：～みる・～ごらん・～なさい、例）きいてみなっせ：聞いてください*
- ▶みかけによらん：見た目より良い*
- ▶みぎやあいく：見に行く*
- ▶みぐるしか：みっともない*
- ▶みごつ：みごと・立派だ、参考：「おみごつ：お見事」とは言わない
- ▶みこなさん：見きれない*
- ▶みじかか・みしきや・みじきや：短い*

- ▶みじくしゃ・みじくせー：他人行儀な*
- ▶みずぼらしか：身なりが貧弱だ*
- ▶みせや←店屋：商店
- ▶みせびらかし：得意そうにみせる*
- ▶みそおつけ、みそつけ、おつけ：味噌汁
- ▶みそこなうな：見あやまるな、バカにするな*
- ▶みたこつか：見たことか*
- ▶みたつな：見ましたか、「みなっせ」見て、「みなはり」見て、「みんなね」見ないの、「みとれ」見れおれ・覚えておけ*
- ▶みちがゆる：見違える*
- ▶みちばちや：道端*
- ▶みっともなか・～にや：見苦しい*
- ▶みてくれ：みかけ、例)みてくれはよかばってん：見かけは良いか*
- ▶みてみい・みてみんか：見てみなさい*
- ▶みてみなはり・～みんなね：見てみなさい*
- ▶みてみんふり：みてもみないそぶり*
- ▶みとうもない：見たくもない*
- ▶みとりこなさん＝見ておれない、推定由来：見取る+こなさない：見届けること不可能
- ▶みとけ・みとれ：見ている*
- ▶みなずりや←皆連れ合い：皆で一緒に、皆で連れあって、和歌山地方：連れもって
- ▶みなりのええ・～よか・ええみなり：おしゃれな・こじやれた*
- ▶みなれん：見慣れない*
- ▶みもせんで：見もしないで*
- ▶みなやん：みんな*
- ▶みばいる・みばいれる：本気になる、「みのいっとらん」本気になっていない、「みのいらん」その気になってない*
- ▶みはからし：眺望・景色、「みはらかしのよか」眺望が良い*
- ▶みみのす、みみんす：耳の穴
- ▶みみのは、みみんは：耳たぶ
- ▶～みやあ：～まい・～ない・～ないだろう、「いきみやあ」行くまい、「しみやあ」しないだろう*
- ▶みやま：地名：富山、「や」が一つえる、または「深山」か
- ▶～みゆ・～みゆう：～みよう・～よう、「いってみゆう」行ってみよう*
- ▶みゆうと：夫婦*
- ▶みゆる：見える、「みえまっしゅおうが」見えるでしょうが、「みえましゅうが」見えるでしょうが、「みかけん」見かけない、「みきらん」見られない、「みごろばい」見ごろです、「みせちくれ」見せてくれ、
- ▶みよつと：見てい流よ*
- ▶みよらす：見ていらっしゃいます*
- ▶みよんなっせ：見ていてください*
- ▶みよんなはり：見ていなさい*
- ▶みょうがん←みょうがの子：みょうがの芽、みょうがは成草だからこの方が正しい？
- ▶みられん：見れない*
- ▶みろごたる：見たい*
- ▶みろごつもなか・～にや：見たくもない*
- ▶みん：見ない*
- ▶みんごつ：見ないように*

- ▶みようにや・～な・～なか：変な・妙な、「みょうなこつ」変なこと、「みょうなもん」変なもの*
- ▶～みるか：～みようか、「くうてみるか」食べてみようか、「のぼってみるか」登ってみようか*
- ▶～みんか・～な・～ね・～や：～してみないか*

[む]

- ▶むかえん：向かいの*
- ▶むかしゃ：昔は、むかしんこつ：昔のこと*
- ▶むかぜ：ムカデ*
- ▶むかる：はむかう*
- ▶むかれ：立ち向かえ*
- ▶むきなすな：(こつちを) 向かないでください*
- ▶むぎのこ：小麦粉、類語：こめんこ：米の粉、そばんこ：蕎麦粉
- ▶むげ、むご：大変、非常に
- ▶むげえもん：むごいことだ*
- ▶むげまう・むげみやう：大変なことになる
- ▶むげえめにおうた・むげえーみようた：むごいめにあった*
- ▶むごう：非常に・とても・ものすごく*
- ▶むごか・むげえ：むごい、むごかこつ・むげえこつ*
- ▶むごたらしか：残酷だ*
- ▶むごっかわ：向こう側*
- ▶むごどん：お嬢さん
- ▶むしけ←虫気、子供の病気：腹痛・不眠・かんしゃくなどの症状
- ▶むしの(ん) すかん：どうしても好きになれない*
- ▶むしの(ん) わく：汚くしている様*
- ▶むしゃ：武士・武者・格好・体裁の良いこと*
- ▶むしゃんよか、むしゃんええ←武者ぶりがよい：かっこいい、男前である
- ▶むしゃんわるか：格好が悪い*
- ▶むしろ：藁の敷物*
- ▶むすこんこ：男の子*
- ▶むすめんこ：女の子*
- ▶むぞか・むぞらしか：かわいい
- ▶むぞがる：可愛がる*
- ▶むなくそわるか・～わりい：気分が良くない・不愉快だ*
- ▶むねこん：納得できない*
- ▶むねんわるか：食べ過ぎ・腹が立つ*
- ▶みやみやたら：当てずっぽう・考えもせずに*
- ▶むりすんな：無理するな*
- ▶むりやなか：無理はない*
- ▶むんなこつ：無理なこと*
- ▶むるる：蒸れる・群れる*
- ▶むれとる：蒸れてる・群れてる*

[め]

- ▶めいっばい・〜びゃあ：できるだけ*
- ▶めえかかる・めっかる：見える・見つかる・見つける*
- ▶めにかかる：お会いする*
- ▶めかしたてる：おめかしする*
- ▶めざまし←目まし：通夜の供物、子供のための朝食前のちょっとした食べ物
- ▶めしくわんか：飯を食べないか*
- ▶めしじゃくし←飯約子：しゃもじ
- ▶めしやくたか・〜な・〜ね・〜や：飯を食べたか*
- ▶めじゃなか・〜にや：問題にならない・相手にならない*
- ▶めずらしゅう：めずらしく*
- ▶めっからん：見えない（不可視的な）、見つからない（探しものがみつからない）
- ▶めっかる：見える（可視的な）、見つかる（達成）、由来諸説：目光る、目付る
- ▶めんたまんとびずっごつ←目がとびでるような：とんでもなく（高価な）
- ▶めっちゃ（あ）：めったに、めっちゃんこつ：滅多にないこと、めっちゃんに：滅多に*
- ▶めどがたたん：目処が立たない*
- ▶めのまう：目がまわる*
- ▶めのもうて：目が回って*
- ▶めばひんむいて：よく目をひらいて*
- ▶めひつつぶって：目を閉じて*
- ▶めめこ・めめじよ：女陰*
- ▶めやね：目くそ*
- ▶めんどくしゃ・めんどか：めんどくさい*
- ▶めんほうよ、めのほうよ←目の保養：美しいものを観て目を休める、肥やす、観光

[も]

- ▶もういかん：もうだめだ・もう（二度と）行かない*
- ▶もういっぺん・もっかい：もう一度*
- ▶もうええ・もうよか：もう良い・もうやめなさい*
- ▶もうしらん：もう知らない*
- ▶もうもてん：もう耐えられない*
- ▶もだゆる、もだえる：急ぐ
- ▶もたれん：持ちきれない*
- ▶もたん：持ってない・耐えられない*
- ▶もちごるまめ：納豆入焼餅、食習慣：丸餅を焼き納豆を包み食べる、類語：しよいもち
- ▶もちよっと・もちいと：もう少し*
- ▶もちもん：持ち物*
- ▶もつ：産む、例：うちにわとりのたまごばもちはじめた
- ▶もつ：日もちする*
- ▶もっこ：農作業用の担架
- ▶もっこす：熊本出身の頑固者・偏屈者*
- ▶もつつき：餅つき
- ▶もつる：もてる*
- ▶もつるる：糸などがからみあう・交渉などがもつれる*
- ▶もでた：戻した*
- ▶もてた・もつる：日持ちが長い・永続する*

- ▶もてとる：未だ継続している*
- ▶もてん：人気がない*
- ▶もどらっそ：帰られるだろう*
- ▶もどられん：帰れない*
- ▶もどろうごたる：帰りたい・引き返したい*
- ▶もどんなっせ・～なはり：帰りなさい*
- ▶ものいいにいく：(お悔やみの) あいさつにいく*
- ▶ものたらん・ものたりん：すこし不足だ*
- ▶ものほっさお：物干し竿
- ▶もむる：もめる*
- ▶もみすり：脱穀*
- ▶ももたぶら：大腿部*
- ▶もやい、おもやい←催合い、最合い：共同作業、共同所有、確認由来：古代語
- ▶もようて：共有で*
- ▶もろ(う)た：もらった*
- ▶もろいださん：もらえなかった*
- ▶もらいてのなか・～にや：もうらう人がいない・嫁に行けない*
- ▶もらいもん：もらい物*
- ▶もらおうごたる：もらいたい*
- ▶もらわした：もらわれた*
- ▶もろうてはいよ：もらってください*
- ▶もろうてうちよく：もらっておく*
- ▶もろうときなっせ：もらっていない*
- ▶～もん：者・物、例) きじょうもん：しっかりした人、やかましかもん：やかましくゆう人、わさもん：新しいもの、つけもん：漬物*
- ▶～もん：～だろが・～もの・～ものよ、例) よかろうもん：いいだろうか、しらんもん：知らない、たいしたもん：大したもの*
- ▶～もんな：～ものね・～よね、例) もうわるかこつはせんもんな*

【や】

- ▶～や：～しないか、例) いかんや：行かないのか、せんや：しないか
- ▶やあとる←あいとる：開いている、用例：玄関なやあとった、店んやあとった
- ▶やおいかん←よくいかない：達成が困難である、一筋縄ではいかない→よくできる
- ▶やおつり、やうつり←家移り：引越し、転居
- ▶やがうえ：そのうえ・それ以上に*
- ▶やかましか：うるさい・騒がしい・学識がある・偉い*
- ▶やかましもん：口うるさい人・物知り・偉い人*
- ▶やかましゅう：説教する、例：やかましゅういうときますけん、こらえちはつよ
- ▶やけ：で、例) ふたりやけ：二人で*
- ▶やすい・やすか・やーすか：(値段が) 安い・簡単*
- ▶やしや：野菜*
- ▶やすごろ：安物*
- ▶やせひごけて・やせひごとる：げそつと痩せてる*
- ▶やたりや：むやみやたらと・無茶苦茶*

- ▶ やっこがす：焼き焦がす*
- ▶ やっとけ：やっておけ*
- ▶ やってみなっせ：やってごらん*
- ▶ やってみんなかい・～な・～や：やってみたら*
- ▶ やっどん：奴等、「あやっどん」あいつら*
- ▶ やっぱ・やっぱし：やはり・やっぱり*
- ▶ やっぱええ：やはり良い*
- ▶ やっぱいかん：やっぱりうまく行かない*
- ▶ やと←やいと：灸、お灸
- ▶ やとーとる：雇っている*
- ▶ やぼくら：藪の中、推定由来：藪中の暗がり→やぶくら→やぼくら
- ▶ やまいもじゆる：山芋汁、とろろ汁
- ▶ やまいもほり：山芋（自然薯）堀り*
- ▶ やましお：山の崩落、崖崩れ
- ▶ やめとけ・やめとかし：やめなさい*
- ▶ やめるばい：やめるよ*
- ▶ やめよーい：やめよう*
- ▶ やみゆー：やめよう*
- ▶ やみゆーか：やめようか*
- ▶ やめなっせ：やめてください*
- ▶ ややこしか：複雑だ*
- ▶ やりにきい・やりにくか：やりにくい*
- ▶ やる：する・あげる・与える・贈る*
- ▶ やろやろ：しようしようの掛け声*
- ▶ やんなはり：あげなさい*
- ▶ やんぼし：山伏

[ゆ]

- ▶ ゆうがん←夕爛か?：晩酌、参考：晩酌にあたる的確な西原語がみつからない
- ▶ ゆうこつ・ゆうごつ：ゆうこと*
- ▶ ゆうごっせ：言うようにしろ*
- ▶ ゆうこつばきけ：言うことを聞け*
- ▶ ゆうじんする：用心する、例：ゆうじんしなつせ、よ→ゆ
- ▶ ゆうずの（ん）きかん：融通が効かない*
- ▶ ゆうたろが、いうたろが：言ったでしようが
- ▶ ゆうちいみい：言ってみろ*
- ▶ ゆうちいくれ：言ってくれ*
- ▶ ゆうちやいかん・～なん：言ったらいけない*
- ▶ ゆうちやすまんが・～ばってんが：言っては悪いが*
- ▶ ゆうちやる：言いつける*
- ▶ ゆうちゆうが：言う事自体*
- ▶ ゆうちてわかっとか：言っで分かるか*
- ▶ ゆうときなっせ：言っでおきなさい*
- ▶ ゆうとらす・いいよらす：言っでおられる*
- ▶ ゆうと～、いうと～、ようと～：全く*

- ▶ ゆうとさぎゃ、ようとさが：？：やっとの思いで？、※存在も意味も自信がありません
- ▶ ゆかんした、よかんした：床下
- ▶ ゆずりおうて：譲り合って＊
- ▶ ゆだれ：よだれ＊
- ▶ ゆのへ：湯のなかで屁をひること＊
- ▶ ～ゆる：～える、例) うゆる：植える、きがゆる：着替える、おしゆる：教える＊
- ▶ ゆるう：いい加減な様・きつく閉まってない様＊
- ▶ ゆるか・ゆりい：ゆるい・たるんでいる・うすい＊
- ▶ ゆるっとする：ゆっくりくつろぐ、ゆるっとしなっせ
- ▶ ゆわした：言われた＊
- ▶ ゆわんこっじゃなか：言ったとおりだろうが＊
- ▶ ゆんべ・よんべ・ようべ・よーべ：昨夜＊

[よ]

- ▶ よー～・よう・よお：よく＊
- ▶ ～よう：～やく、例) はようせんか：早くしろ＊
- ▶ よういいきらん：とても言えない＊
- ▶ ようおいでなはったな：良くおいでくださいました＊
- ▶ ようしたもん、ようしたもんたい：よくできたものですね、抽象・具象いずれにも使用
- ▶ ようしてもらわんと：よくしてもらわないと＊
- ▶ ようしなす・ようならかす：直している・直す＊
- ▶ ようでけとる：良く出来ている＊
- ▶ ようとる・よーとる：酔っている＊
- ▶ ようふる：よく降る＊
- ▶ ようべ：昨夜＊
- ▶ ようなか・ようにゃ：良くない＊
- ▶ ようなつた：よくなつた＊
- ▶ ようならん：良くならない＊
- ▶ ようのなか・～にゃ：用事がない・関係がない＊
- ▶ ようま・ようまあ：どうしてそんなことを＊
- ▶ ようやっと：ようやく＊
- ▶ ようゆうた←よく言った：よくぞ言ったものだ
- ▶ ようゆうばい：よくそんなこと言うよ
- ▶ ようよ：やっと
- ▶ ようよんこて：やっとのことで＊
- ▶ ようわからん：良く分からない＊
- ▶ よかあんびゃあ、ええあんびゃあ←よか接配に：いい具合に
- ▶ よかしこ、ようしこ：好きなだけ、たくさん、しこ：量、程度
- ▶ よえー・よわか：弱い＊
- ▶ よくばだす←欲を出す：積極的になる、利益誘導的になる
- ▶ よか：良い＊、例) よかあんばい：具合がいい＊
- ▶ よか：要らない・充分だ、例) もうよか＊
- ▶ ～よか：～よりも、例) これよか：これよりも
- ▶ よかうち：良い方、いい間に＊
- ▶ よかおとこ／よかおなご：いい男／いい女・美人＊

- ▶よかくさい：いいとも*
- ▶よかごたる：いいようだ*
- ▶よかこつ：いいこと*
- ▶よかごつ：いいように・好きなように、よかごつしなっせ：いいようにしなさい*
- ▶よかしこ：いいだけ*
- ▶よかた・よかたい：いいぞ・いいですよ*
- ▶よかつ：いいもの*
- ▶よかつかい：いいですか*
- ▶よかつば：良いのを*
- ▶よかと：いいのですか・いいの*
- ▶よかな・～か・～ね・～や：いいですか*
- ▶よかばい・よかばいた：いいですよ*
- ▶よかばしもんのごて：いいものではないのに*
- ▶よかもん：いいもの*
- ▶よかよか：いいよ*
- ▶よかりそうなもん：もう良さそうだ*
- ▶よかろうか：いいだろう*
- ▶よかろうが：いいだろうが*
- ▶よかろうたい：これでいいだろう*
- ▶よかろうばい：もういいだろう*
- ▶よかろうもん：いいでようがね・文句はなかりう*
- ▶よごう：休む、由来不明、極めて関心がある
- ▶よごどる←よごうておる：歪んでいる
- ▶よごむ：歪む
- ▶よさぶる：ゆさぶる、「ゆ」を「よ」と発音、但し、「ゆする」を「よする」とは言わない
- ▶よさる、よさり←夜去り：夜間、夜更け、推定由来：古代語、例：竹取物語
- ▶よちごろ＝粗悪なもの（物）、壊れやすい（物）、か弱い（人）、類語：ちゃんから
- ▶よつかど：十字路、参考：表現の視点がまったく違って面白い。
- ▶よったり：四人
- ▶～よっと、～よると：～している最中です、文法：現在進行形、～しておると
- ▶よとぎ←夜伽ぎ：通夜、伽：連れ、話相手
- ▶よな：火山灰、阿蘇の火山灰
- ▶よめご：お嫁さん
- ▶よりや：寄り合い：会合、会議
- ▶よんこ、よんによ：たくさん
- ▶よんべ、ようべ、よーべ・ゆんべ：夕べ、昨晚

【ら】

- ▶らいしん：来春、来年*
- ▶～らいな：～するな、例) しゃべらいな：話すな*
- ▶～らした：～された、例) おきらした：起きられた*
- ▶～らす：～している、例) いらす：おられる、なきよらす：泣いておられる*
- ▶らちゃあかん：はかどらない*

- ▶らっがき：落書き*
- ▶らっかしょう：落花生のことであるがあまり使用しない
- ▶らっがん←らくがん：菓子) 落雁
- 日～らす：～おられる：親しい第三番に対する敬語、推定由来：市代の張り
- ▶～らっさんーらっさぬ：～らすの否定語
- ▶～らせん：～ない・～させない、例) はいらせん：入れない*
- ▶～らん：～ない、例) おわらん、しきらん：できない*
- ▶らんきよ、だつきよ、だんきよう、だんきゆ：ラッキョウ
- ▶らん(む) ねんたま：ラムネの玉、ビー用

[り]

- ▶りおさん←りゅうおうさん：布田にある社の要所、推定：龍王寺、または龍王山？
- ▶りきりょうもん：見識・手腕のある人*
- ▶りこうもん：利巧な人*
- ▶りっぴゃあ：美しい・しっかりしてる*
- ▶りっぱなもん：うまく、上手にできた*
- ▶～りゃ：～らしい・～れば、例) 「めしくりゃ」飯くらい、「そぎゃんすりゃ」そのようにすれば*
- ▶りんきする：やきもちをやく

[る]

- ▶～るる：～れる、～することができる、文法：動詞+るる：可能性、古代願路限、例) 行かるる、渡らるる、遠らるる*

[れ]

- ▶～れん：(助動詞) ～(することが) できない、例) 言われん*
- ▶れんこん：辛し運根、参考：元来当地域根を自家で調理し食する国がない

[ろ]

- ▶～ろ：～だろう、例) 「いきよろ」行っているだろう、「しよろ」しているだろう*
- ▶～ろがたい：～でしょうが、例) 「いうたろろがたい」言ったでしょうが*
- ▶ろくすっぽ：いい加減に・少しも*
- ▶ろくでもにや・～なか：何の役にも立たない*
- ▶ろくなこつ：良くないこと・正しくないこと、「ろくなこたにや・～なか」いいことはない、「ろくなこつあせん」いいことはしない、「ろくなこつぽっかりして」悪いことばかりして*
- ▶～ろて：～だろうて、例) 「わかっつたろろて」分かっていたらうに*

【わ】

- ▶わいたー、あいたー：あれー、あらまー、（悪事がばれてばつが悪い）
 - ▶わが：お前、元々自分の意味であったが、文脈やアクセントにより「お前」になった、例）「わがつか」お前のか、「わがと」お前のものか、「わがよかごつ」自分のいいように*
 - ▶わがどま、わがどみゃ←我が共は：お前たちは
 - ▶わからん：理解できない、例）「わからっさん」理解してもらえない、「わかりみゃー」理解できないだろう*
 - ▶わきゃ・わっか：若い、例）「わきゃもん・わっかもん」若者・若い人*
 - ▶わくど：がまがえる
 - ▶わけくちゃわからん：物のどうり・理屈がわからない*
 - ▶わさもんずき：新しいもの好き←早生物好き
 - ▶わし：私・俺・己*、「わたしや・あたしや」私は*
 - ▶わするる：忘れる*
 - ▶わずろうとる：病気をしている*
 - ▶わっか：若い*、「わかて」若い人たち、「わっかつ」若い人たち*
 - ▶わっどま・わがどま・わっどん：お前たちは
 - ▶わらいかぶっ、～ぶる：大笑いをする
 - ▶わり：お前・君*、「わりげ」お前の家*
 - ▶わりー：「悪いね」と謝る時*
 - ▶わりごろ、わるごろ：悪いやつ、暴れ者
 - ▶わりいこつ：悪いこと*、「わるがき」いたずら坊主、「わるこつ」悪いこと、「わるこつするな」悪いことするな、「わるごろ」いたずら坊主・悪い奴ら、「わるそー」悪そうな、「わるもん」悪者*
 - ▶わりかし：割と・案外と*
 - ▶われ・わりゃ・わる：お前、「わりゃあ」お前は*
-

【ん】

- ▶～ん：～の、例）がっこんせんせ：学校の先生、～の所有、例）「おれんと」俺の*
- ▶んな、んなら、んならな←そんならな：さようなら、関連推定：左様であるならば→左様なれば→さようなら、そうならば→そうならな→そんならな→んならな→んなら
- ▶んなこつ、ほんなこつ←本なこと：本当のこと、正しいこと
- ▶んね・うんね：いいえ、そうじゃない*
- ▶んま：馬
- ▶んみゃあ、んまか←うまか：旨い、美味しい

備考

【特徴】（肥後弁・熊本弁共通）

- 抑揚がなく平坦（ほぼ九州全域）、橋・端・箸の抑揚の区別がない
 - 鼻濁音がない（ほぼ九州全域）。
 - リエゾン現象があり、助詞が無いかのように聞こえる。例：くまもて＝くまもとへ
 - 多様な強意接頭語の存在。例：つん、つつ、ひん、ひっ、はち、はっ、ほたり、きゃあ
 - 大量、多量、大いになどのメジャー性を意味する表現が多数存在する。
- 例：あばかん、いさぎい、えらしこ、たいぎやにや、ほういっぴやあ、むご～
- 古代語に由来すると思われる言葉が生存。例：とぜんない、かちかる、がまだす
-

【2音の1音化現象】

◎名詞の終音と助詞がリエゾンしあたかも助詞が消えるような現象がある。※省エネ言語
但し、名詞+目的性接続助詞の場合である。

- たへ→ちゃ例：布田へ：ふちゃ
 - ちへ→ちい例：山口へ：やまぐちい
 - つへ→ちい例：中津へ：なかちい
 - づへ→ちい例：大津へ：おおちい
- 例：風当へ：かざて
- とへ→て例：熊本へ：くまもて
 - らへ→りや例：そちらへ：そちりや
 - まへ→みや例：鹿児島へ：かごしまや
 - さへ→しゃ例：天草へ：あまくしゃ

※名詞+方向性接続助詞の場合は、この現象は起きない。

- くまもとさん：熊本方面へ
 - ふくおかさん：福岡方面へ
 - にしのほうさん：西の方へ
-

【強意の接頭語】

◎強意の接頭語が多く、しかも珍しい表現が聞かれる。

- うっ：うつつあする（うち忘れる）、うっちょく（うち置く）、推定由来：古代語の「うち」、共通語：うちまかす
- きゃあ：きゃあさむる、きゃあかぶる、きゃあくるう、きゃあいく、きゃあしもた推定由来：古代語の「かき」、共通語：かきけす、かきちらす
- つつ：つつかぐ、つつこける、つつたおるる、つつぼがす、由来：不明
- つん：つんかく、つんこける、つんたおるる、つんぼがす、由来：不明
- ◆はっ：はってく＝行ってしまふ、由来：不明
- ひっ：ひっかぐ、ひっだす、ひっぬく、ひんしゃぐ、由来：不明
- ひっと：ひっとづる、ひっとでる、由来：不明
- ひん：ひんかぐ、ひんぬく、ひんまぐる、ひんしゃく、由来：不明
- ほたり：ほたりこくる由来：ますます不明

【所有代名詞】

◎明確な所有代名詞が存在する。

◎～がつ

- 私のもの：わたしがつ、おるがつ
- 貴方のもの：あなたがつ、ああなたがつ、あたがつ、あんたがつ
- あの人のもの：あんひとがつ
- だれのもの：だるがつ
- 先生がつ：先生のもの

※この言い方はあるかどうか自信がない。

◎～んと

- わたしんと、おれんと、あんたんと、あなたんと、あんひとんと、だれんと、せんせんと、そんちよんと、こどもんと、おとなんと、おとこんと、おなごんと

【古代語の名残り】

◎古代語の生きた化石のようなことばが残っている

♪いぬ、いぬる：往ぬ、往ぬる：帰る：立去るから転じて、古典例：源氏物語・若草

●かちかる：徒歩かる：手ぶらで：元来の意味は徒歩で、古典例：太平記

◆がまだす：仕事に勢を出す：降魔（うま→がうま→がま）：悩を追払い専念する

●とぜんなか：徒然なか←徒然なり、なすこともなく退屈なこと、古典例：太平記

◆はかいく、はかんいく：はかどる、対応漢字：捗、古典：万葉集

●よさり：夜更り、夜去り：夜更・夜分の意、古典例：竹取物語

【現在進行形、現在完了形、過去形】

◎「雨が降る」の現在進行形、現在完了形、過去形

●雨ん降りよる：雨が降っている：現在進行形

●雨降っとる：雨が降った（今は上がっている）：現在完了形

●雨ん降った：雨が降った（単なる過去の事実）：過去形

【特に母音の古代語の名残り】

●いごかす←うごかす

●いうお←うお

●いのす←ゆのす（共通語へ）ゆのす→ゆす→ゆず、参考：矢の木→矢な木→やなぎ→柳

●はえ←はや：川魚の一種

●ゆうと←ようと：やっと

●よさぶる←ゆさぶる

●ようべーゆうべ

●よかんした←床ん下

【接続助詞の転化：の→ん】

◎の→ん：no→n：省エネ言語

●がっこんせんせい←学校の先生

- やまんなか←山の中
- あたんくるま←あなたの自動車
- なかんよか：仲の良い
- うちんよめ←うちの嫁

※稀ではあるが、語頭を明瞭に発音しない場合がある。

んまくうま：馬、しかしこれは中国音「ma」に近い発音かもしれない。

- んめぼし←うめぼし：梅干し

【形容詞の送り】

◎形容詞の送り：～か←～い

- 美しか、汚か、早か、運が、太か、細か【否定の語尾】

◎否定の語尾：～にやあ←～なか。～ない

- おいしくない→おいしゅうにやあ、
うもにやあ
- したくない→したくにやあ、しょうごつにやあ
- しょうがない→しょんにやあ

【類似形容表現】

◎類似形容表現：～のたる←ごとある←如くある：～の様である

- 夢の様だ→ゆめんごたる
- うその様な話→うそんごたる話

【ぎゃん】

◎共通語：～のような→関西語：～げな→北九州語：げん→西原語：ぎゃん

- こぎゃん：このような例：こぎゃんすったい
- そぎゃん：そのような例：そぎゃんこつばいうな
- あぎゃん：あのような例：あぎゃんひととはつきあうな
- どぎゃん：どのような例：どぎゃんしてでんせにやいかん
- どぎゃしこ：この程度または量、※「しこ」は共通語の「しこたま」と同根か。
- こぎゃしこ：この程度または量、※「しこ」は共通語の「しこたま」と同根か。
- そぎゃしこ：その程度または量
- あぎゃしこ：あの程度または量
- どぎゃしこ：どの程度または量

【くさ・くさい言語圏】

◎表現の語尾に断定的な意味での強意の接尾語として「～くさ」または「～くさい」を付けることがある。これは、状況によってはやや投げやりな印象を与える。

◎推定地域：北部有明海沿岸、熊本県北西部、福岡県西部、佐賀県

◎西原地区では高年齢者は使用するが、若年齢者はどうか。

- こぎゃんこつも知らんとか。そんくりやあ知つとるくさ（い）。

- ディズニーランドにいたこつあなかど。行ったこつああるくさ（い）。
-

【と言語圏対ば言語圏】

- 仮定の助詞、①～しなければいけない、②～しないといけない
 - ◎北部有明海東部：熊本・福岡：と言語圏
 - ◎北部有明海北部・西部：佐賀・長崎：ば言語圏
 - ◎と言語圏：勉強せんといかん：勉強をしなければならない
 - ◎ば言語圏：勉強せんばいかん：勉強をしなければならない
-

【色彩形容表現】

- 赤い：あきやあ、あかか
 - 青い：あうええ、あおか
 - 黄色い：きにやあ、きなか（黄な粉→きなこ）※ただし、「きなこ」を「きにやこ」とは言わない。
-

【反復副詞】

- どでんこでん
 - どぎゃんこぎゃん
 - どぎゃんもこぎゃんも
 - ◎だってんかってん
 - なんでんかんでん
-

【中国語音の名残り】

- スイカー西瓜、中国語音：しいぐわ→西原語音：しいくわ
 - ◆馬：ma→ま→んま
-

【古代朝鮮語の名残り】

- ◎「くる」「くる」は古代朝鮮語で「丸い」とか「周り」を意味するという。これは推定私説であるが、次の例示はこれに由来していることばだと思われる。
 - くり、どんぐり、ぐるり、くるま、ぐるっと、ぐらぐら、くるくるぐる：悪者の仲間、悪者の連鎖、悪者のネットワーク
-

【極色彩形容詞】

- ▶真っ赤：まっきゃ
 - ▶真っ白：まっしれえ
 - ▶真っ青：まっさうえ
 - ▶真っ黒：まっくれえ
 - ▶真っ暗：まっくりや
-

【かぶる：被る：被害を被る】

- ▶なっかぶる：泣き被る
- ▶ひっかぶる：浴びせられる、責任を負わされる

- ▶しかぶる：オシッコを漏らす
- ▶たりかぶる：〇〇〇〇を沸らす

【時間の表現の多様性】

- ▶はじゃ←はさに：ゆうとるはじゃ、まっとるはじゃ、由来：間→はざま→はざ→はじゃ ▶ひま←暇：
ひまんいんなあ：時間がかかるなあ、参考：閑の意ではない、閑暮し
- ▶あいだ：共通語でもある

【1日の時間帯の表現】

- ▶くりやあうち：夜明け前
- ▶あさがた、あさがちゃ：朝方
- ▶ひるまえ：午前
- ▶ひっどき、ひるどき：昼前後
- ▶ひるかる：午後
- ▶ばんがた、ばんがちゃ：夕方
- ▶よさる、よさり：夜、夜中

【1音または1音に聞こえる命令形】

- ▶け：来い、来なさい
- ▶せ：しなさい
- ▶で：出ろ、出なさい
- ▶ね：寝ろ、寝なさい
- ▶くえ：食え、食べなさい

【接続助詞の転化の例外】

- ▶接続助詞の「の」は「ん」に転化するが、例外がある。
- ▶転化の例：がっこんせんせ、うちんむら、あすんあさ、あたんくるま、うちんむすこ ▶例外：木：松の木、杉の木、栗の木、などは「まつんき」とかは言わないようである。
ただし、にわんき（庭木、庭の木）とはいうようである。例外現象は、当地においてはすでに「松の木」、「杉の木」とかが固有名詞化しているためだと考えられる。

【～合い→や、やあ】

- ▶寄り合い：よりや
- ▶出合い：でやあ
- ▶話し合い：はなしやあ
- ▶つき合い：つきやあ
- ▶斬りあい：きりやあ
- ▶もやい←最合い？：もやあ

【日本語ポリネシア語源説】

- ◎日本語はポリネシア語を語源とする説もある。この説によれば、意味不明の地名などはポリネシア語（マオリ語、ハワイ語など）で本来の意味を解釈することができるという。
- ◆例：阿蘇山、安蘇郡、有珠山はポリネシア語で意味が解釈できるらしい。
マオリ語：ATO=垣根で囲まれた山や土地（Enclose in fence）→アソ、ウス
- 例：高遊原：「タカ・イフ・パル」、TAKA-IHU-PARU（taka=heap, lie in a heap: ihu=nose,

bowof a canoe etc. iparu=plunder, crash)、「高い・鼻がある・粉々の(火山灰が堆積している)場所(原)」(「イフ」のH音が脱落して「イウ」から「ユウ」となった)が転訛したと解釈するらしい。

•また、阿蘇は英語のAsh(灰)に由来するという説もある。Ash→AsO→Usu 有珠山

•九州では、「～原」を「～はる」または「～ばる」と発音するが、ボルネオの「コタキナバル」、アフガニスタンの「カンダハリ」、マレーシアの「クアラルンプール」と同一由来ではないかと思われる。また、インドに「プール、プル」で終わる地名が多いことも興味深い。

◎私的仮説：古代中国語→古代日本語、古代中国語→古代朝鮮語→古代日本語のほか、古代ポリネシア語→古代日本語のルートで上陸したことばが、現在の日本各地の地域語として脈々と生き続けていることばもあると思われます。

第0版 2005年3月 発行

第1版 2005年11月 発行

第2版1刷 2025年3月31日 発行